

2014年度 日本地球化学会年会 全体タイムスケジュール

月日	会場		時間	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
9月15日 (月)	C会場	D11 (198名)		日本地球化学会ショートコース												
	D会場	A21 (90名)		評議員会												
9月16日 (火) 第1日	A会場	C21 (370名)	受付開始	G04 鉱物境界面の地球化学、水-岩石相互作用				日中地球化学フォーラム				G09 生物と有機物の地球化学				
	B会場	C11 (194名)		日中地球化学フォーラム				G10 水圏環境の地球化学				夜間集会				
	C会場	D11 (198名)		G06 炭化水素資源の地球化学・深部炭素循環				05 海洋における微量元素・同位体								
	D会場	A21 (90名)		G15 初期地球と生命起源の地球化学				ポスター								
	E会場	C12 (194名)		ポスター				ポスター								
	P会場	D21, D22, A23		ポスター				ポスター								
	委員会室	A32		地化編集委員会				←地球化学編集委員会								
9月17日 (水) 第2日	G会場	黒田講堂	受付開始	F1 地球化学を先導する研究計画検討会				総会				TF会議				
	A会場	C21 (370名)		G09 生物と有機物				受賞講演会								
	B会場	C11 (194名)		G01 大気微量成分の地球化学												
	C会場	D11 (198名)		G07 マントル物質の化学												
	D会場	A21 (90名)		ポスター												
	E会場	C12 (194名)		GJ ←GJ編集委員会												
	P会場	D21, D22, A23														
委員会室	A32															
	グラウンドプラザ											(移動) 懇親会				
9月18日 (木) 第3日	A会場	C21 (370名)	受付開始	G08 宇宙化学・惑星化学				G08 宇宙化学・惑星化学				閉会式 授賞式				
	B会場	C11 (194名)		G02 古気候・古環境解析の地球化学				G16 海洋化学・大気化学(全般)								
	C会場	D11 (198名)		G14 原発事故で放出された放射性核種の環境動態				G13 最先端計測・同位体地球化学								
	D会場	A21 (90名)		S1 北陸地方を中心とした大気水圏化学				I 地球内部流				12 地球化学の人				
	E会場	C12 (194名)		G17 固体地球化学(全般)				G03 放射性廃棄物				G03 放射性廃棄物と地球化学				
	P会場	D21, D22, A23		ポスター				ポスター								
	委員会室	A32		ト				←ゴールドシュミット準備委員会								

セッション概要

(口頭発表の会場と時間帯, ポスター発表の番号)

1: 9月16日(火), 2: 9月17日(水), 3: 9月18日(木)

セッションテーマ	日程・会場・時間帯	
	口頭発表	ポスター発表
	A, B, C, D, E会場	P会場
<特別セッション>		
S1 北陸地方を中心とした大気水圏化学 - 高低差4000mの地球化学	3D 午前	3P 01-11
<学会企画セッション>		
F1 地球化学を先導する研究計画検討会	2A 午前	なし
<学会基盤セッション>		
G01 大気微量成分の地球化学	2C 午前	1P 01-07
G02 古気候・古環境解析の地球化学	3B 午前	3P 12-28
G03 放射性廃棄物と地球化学	3E 午前・午後	3P 29-33
G04 鉱物境界面の地球化学、水-岩石相互作用	1A 午前	1P 08-11
G05 海洋における微量元素・同位体	1E 午後	1P 12-18
G06 炭化水素資源の地球化学・深部炭素循環	1D 午前	1P 19-24
G07 マントル物質の化学とダイナミクス	2E 午前	3P 34
G08 宇宙化学・惑星化学	3A 午前・午後	3P 35-42
G09 生物と有機物の地球化学	1B 午後・2B 午前	1P 25-32
G10 水圏環境の地球化学	1C 午前	1P 33-48
G11 地球内部流体の化学	3D 午後	3P 43-48
G12 地球化学の人文科学への応用	3D 午後	3P 49
G13 最先端計測・同位体地球化学	3C 午後	3P 50-60
G14 原発事故で放出された放射性核種の環境動態	3C 午前	3P 61-70
G15 初期地球と生命起源の地球化学	1E 午前	1P 49-53
G16 海洋化学・大気化学(全般)	3B 午後	3P 71-77
G17 固体地球化学(全般)	3E 午前	3P 78-81

* 「3D 午前」は, 3日目のD会場, 午前を意味します。

**ポスター発表の1Pは1日目, 3Pは3日目がそれぞれコアタイム(12:30~14:00)になります。

***夜間セッション「地球化学の研究資金獲得に向けて-科研費の積極的獲得を中心に-」は1日目C会場にて17:40-19:20に行われます。

[A会場]

セッションG04 鉱物境界面の地球化学、水-岩石相互作用
コンビナー: 福士圭介・大竹翼・斎藤拓巳・鈴木庸平・高橋嘉夫

8:45-9:00 1A01

風化花崗岩中のレアアースの存在状態と抽出特性
○本多 翼¹,高橋 嘉夫¹,田中 雅人¹(東京大学大学院)

9:00-9:15 1A02

アルカリ金属元素-希土類元素硫酸複塩の生成に伴う希土類元素の分配挙動
○深井 恵¹,木川田 喜一¹,大井 隆夫¹(上智大学)

9:15-9:30 1A03

非晶質炭酸カルシウムを経由したカルサイトへのストロンチウムイオンの取り込み
○松沼 智史¹,鍵 裕之¹,小松 一生¹,丸山 浩司¹,吉野 徹²(東京大学,²東京都立産業技術研究センター)

9:30-9:50 1A04 (基調講演)

微小領域における炭酸塩の安定同位体比分析の現状
○石村 豊穂¹(国立高等専門学校機構・茨城工業高等専門学校)

9:50-10:05 1A05

還元的環境におけるモリブデンとタングステンのパイライトへの分配挙動の比較
○渡辺 勇輔¹,田中 雅人¹,柏原 輝彦²,川口 慎介²,石橋 純一郎³,高橋 嘉夫¹(東京大学大学院,²海洋研究開発機構,³九州大学大学院)

10:05-10:20 1A06

深海底化学堆積物・鉄マンガンクラスト中のZr-Hf分別
井上 美南¹,○坂口 綾²,柏原 輝彦³,臼井 朗⁴,高橋 嘉夫⁵(広島大学,²筑波大学,³海洋研究開発機構,⁴高知大学,⁵東京大学)

10:20-10:35 1A07

モリブデン同位体が示唆する熱水性マンガンクラストにおけるモリブデンの起源
○後藤 孝介¹,下田 玄¹,Ariel D. Anbar²,Gwyneth W. Gordon²,針金 由美子¹,仙田 量子³,鈴木 勝彦³(産業技術総合研究所,²Arizona State University,³海洋研究開発機構)

10:35-10:40 休憩

10:40-10:55 1A08

鉄・マンガン堆積岩中のレアアースパターンと鉄同位体比から推定される黒鉱鉱床形成後の堆積環境の変遷
○大竹 翼¹,鈴木 陵平¹,山田 亮一²,申 基澈³,昆 慶明⁴,佐藤 努¹(北海道大学,²東北大学,³総合地球環境学研究所,⁴産業技術総合研究所)

10:55-11:10 1A09

海洋地殻-マントル境界付近の熱水活動による微量元素の挙動:オマーンオフィオライトにおける例
○秋澤 紀克¹,田村 明弘¹,荒井 章司¹(金沢大学)

11:10-11:25 1A10

蛇紋岩から流体の化学的性質を読み取る岩石学的試み
○水上 知行¹,林 竜太郎¹,石神 慎太郎¹,大柳 良介²,岡本 敦²,福士 圭介¹,奥野 正幸¹,荒井 章司¹(金沢大学,²東北大学)

11:25-11:40 1A11

ベーリング海大陸斜面堆積物における低温での粘土鉱物の脱水反応の可能性
○井尻 暁¹,若木 重行¹,村山 雅史²,稲垣 史生¹(海洋研究開発機構,²高知大学)

11:40-12:00 1A12 (招待講演)

コロイドの移動と凝集分散・界面動電現象
○小林 幹佳¹,藤田 洋輔¹,山田 健太¹,杉本 卓也¹,本荘 雄太¹(筑波大学)

12:00-12:15 1A13

1:1 電解質(Na⁺L)中でのナノサイズアルミニウムケイ酸塩による微量鉛の吸着:パッチ実験と表面錯体モデリング
○牛山 智樹¹,福士 圭介¹(金沢大学)

12:15-12:30 1A14

有機ヒ素化合物の土壌中の鉱物への吸着分配および有機物による影響
○田中 雅人¹,高橋 嘉夫¹(東京大学)

【C会場】

セッションG10 水圏環境の地球化学

コンピーナ: 光延聖・高橋嘉夫・坂田昌弘・山口紀子・牧田寛子

12:20-12:35 1C13

深海底熱水活動域に存在する酸化鉄被膜地帯での微生物調査

○牧田 寛子¹, 布浦 拓郎¹, 平井 美穂¹, 高木 善弘¹, 菊池 早希子², 光延 聖³, 土岐 知弘⁴, 山中 寿朗⁵, 宮崎 淳一¹, 中村 謙太郎⁶, 高橋 嘉夫⁶, 高井 研¹
(¹(独)海洋研究開発機構, ²広島大・院, ³静岡県立大学, ⁴琉球大・院, ⁵岡山
大・院, ⁶東京大・院)

9:00-9:15 1C01

走査型透過X線顕微鏡(STXM)を用いた環境化学の推進

○高橋 嘉夫¹, 武市 泰男², 菅 大暉³, 井波 暢人², 宮本 千尋³, 坂田 昂平³, 光延 聖⁴, 朱 鳴⁴, 櫻井 岳暁⁵, 守友 浩⁵, 上岡 隼人⁵, 和穎 朗太⁶, 浅野 真希⁶, 山口 紀子⁶, 間瀬 一彦², 雨宮 健太², 小野 寛太²(¹東京大学, ²高エネルギー加速器研究機構, ³広島大学, ⁴静岡県立大学, ⁵筑波大学, ⁶農業環境技術研究所)

9:15-9:30 1C02

走査型透過X線顕微鏡の微生物-金属-鉱物相互作用解明への応用

朱 鳴¹, 光延 聖¹, 坂田 昌弘¹, 高橋 嘉夫², 武市 泰男³, 小野 寛太¹(¹静岡県立大学, ²東京大学, ³高エネルギー加速器研究機構)

9:30-9:45 1C03

東京都立公園のクロム鉱滓処理地におけるCr(VI)汚染

○堀 まゆみ¹, 小豆川 勝見¹, 松尾 基之¹(¹東京大学)

9:45-10:00 1C04

逐次溶解法とXAFS法を用いた地質標準試料中のCr存在形態の研究

○太田 充恒¹(¹産業技術総合研究所地質調査総合センター)

10:00-10:15 1C05

水酸化アルミニウムの沈殿に伴うCdの挙動

○山西 惟¹, 江藤 真由美¹, 宮崎 あかね², 横山 拓史¹(¹九州大学大学院, ²日本女子大学大学院)

10:15-10:40 1C06 (招待講演)

水田土壌における酸化・還元領域の微視的分布とAs・Cdの分布と化学形態の関係

○山口 紀子¹, 大倉 利明¹, 牧野 知之¹, 橋本 洋平², 高橋 嘉夫³(¹独)農業環境技術研究所, ²東京農工大学, ³東京大学)

10:40-10:55 1C07

Geochemical mapping and transportation of trace metals and REEs in small rivers of North Osaka

○Emilie EVEN¹, Aki NOJIMA¹, Harue MASUDA¹, Takanori NAKANO², Toshiro YAMANAKA³ (¹Osaka City University, ²RIHN Kyoto, ³Okayama University)

10:55-11:10 1C08

ガンジス・ブラマプトラ・メグナ川における表層水pCO₂の時間・空間変動および炭素循環への影響の考察

○真中 卓也¹, 牛江 裕行¹, 荒岡 大輔², 大谷 壮矢¹, 稲村 明彦², 鈴木 淳², H. M. Zakir Hossain³, 川俣 穂高¹(¹東京大学, ²産業技術総合研究所, ³Jessore Science and Technology University, Bangladesh)

11:10-11:25 1C09

溶存酸素の三酸素同位体組成を利用した貧栄養・中栄養湖沼の総一次生産量定量

○角皆 潤¹, 南 翔¹, 佐久間 博基¹, 大山 拓也¹, 小松 大祐¹, 中川 書子¹, 梅田 信², 田中 敦³(¹名古屋大学, ²東北大学, ³国立環境研究所)

11:25-11:50 1C10 (招待講演)

付加体深部帯水層での地下圏微生物のポテンシャルと炭素・窒素循環

○木村 浩之¹, 松下 慎¹, 石川 修伍¹, 金子 雅紀², 高野 淑識², 大河内 直彦²(¹静岡大学, ²海洋研究開発機構)

11:50-12:05 1C11

海洋におけるヨウ素の化学形態変化への微生物の寄与

○岡部 宣章¹, 村松 康行¹, 天知 誠吾²(¹学習院大学, ²千葉大学)

12:05-12:20 1C12

黒潮系外洋水における円石藻の出現特性

○萩原 直樹¹, 千賀 康弘¹(¹東海大学海洋学部)

【D 会場】

セッション G06 炭化水素資源の地球化学・深部炭素循環
コンピーナ: 早稲田周・坂田将・鈴木徳行・佐野有司

9:00-9:15 1D01

金属腐食反応を利用したメタン生成菌による CO₂ 資源化促進
○大友 陽子¹, 井尻 暁¹, 稲垣 史生¹ (海洋研究開発機構・高知コア研究所)

9:15-9:30 1D02

天然ガス開発が氷溶性ガス田深部帯水層における生物的メタン生成活性及び経路に与える影響
○片山 泰樹¹, 吉岡 秀佳¹, 坂田 将¹, 村本 良幸², 宇佐美 潤² (産業技術総合研究所, 関東天然瓦斯株式会社)

9:30-9:45 1D03

メタンハイドレート濃集帯を含む東部南海トラフ深部地下圏における微生物のメタン生成活動
○吉岡 秀佳¹, 片山 泰樹¹, 坂田 将¹, 天羽 美紀² (産業技術総合研究所, 石油天然ガス・金属鉱物資源機構)

9:45-10:00 1D04

海水中のメタンブルーム分布を利用した海底からのメタン放出量定量法開発
○原 修一¹, 角皆 潤¹, 小松 大祐¹, 中川 書子¹, 芦 寿一郎², 中村 光一³, 砂村 倫成², 土岐 知弘⁴ (名古屋大学, 東京大学, 産総研, 琉球大学)

10:00-10:15 1D05

北海道新生代コールベッドメタンの炭素同位体組成
○齋藤 裕之¹, 鈴木 徳行¹ (北海道大学)

10:15-10:30 1D06

頁岩と泥質変成岩中の水素の同位体組成と起源
○鈴木 徳行¹, 星野 太一¹, 齋藤 裕之¹ (北海道大学)

10:30-10:45 1D07

米国テキサス州 Eagle Ford シェールの石油根源岩評価
○早稲田 周¹, 黒川 将真¹, 西田 英毅¹, 奥村 文章¹, 富田 寛¹ (石油資源開発株式会社)

10:45-11:00 休憩

11:00-11:30 1D08 (基調講演)

Shale gas methane in groundwater of eastern Canada: carbon fluxes from continents
○Daniele L. Pinti^{1,2}, Anja Moritz³, Sophie Retailleau², Diogo Barnetche², Marie Larocque², Jean-François Hélie², Yves Gelinat³ (AORI, Un. Tokyo, GEOTOP, UQAM, GEOTOP, Un. Concordia)

11:30-11:45 1D09

Non-volcanic fluxes of carbon and helium
○Yuji Sano (Atmosphere and Ocean Research Institute, University of Tokyo)

11:45-12:00 1D10

地球深部起源の炭素に関する諸問題
○兼岡 一郎¹ (東京大学地震研究所)

12:00-12:15 1D11

(U-Th)/He 法を用いたダイヤモンドの年代決定の試み
○本田 勝彦¹, ジェイクス リントン¹, ヨウ ハンリング¹, ハウウェル ダン² (オーストラリア国立大学, マッコーリー大学)

12:15-12:30 1D12

The gas geochemical characteristics in the hydrothermal plumes near Tokara Islands
○Hsinyi Wen^{1,2}, Naoto Takahata¹, Akizumi Ishida¹, Kentaro Tanaka¹, Yama Tomonaga¹, Takanori Kagoshima¹, Kotaro Shirai¹, Jun-Ichiro Ishibashi³, Hisayoshi Yokose⁴, Urumu Tsunogai⁵, Yuji Sano¹ (AORI, Univ. Tokyo, National Taiwan Univ., Kyushu Univ., Kumamoto Univ., Nagoya Univ.)

【E 会場】

セッション G15 初期地球と生命起源の地球化学
コンピーナ: 古川善博・藪田ひかる・小宮剛・渋谷岳造・小林憲正

8:45-9:10 1E01 (基調講演)

地球外有機物の化学進化
○奈良岡 浩¹ (九州大学)

9:10-9:35 1E02 (基調講演)

初期太陽系および初期地球における水素同位体比の進化
○石田 章純¹, 小池 みずほ¹, 佐野 有司¹ (東京大学)

9:35-9:50 1E03

地球化学的反応における時間スケールの重要性
○小嶋 稔¹ (東京大学)

9:50-10:05 1E04

模擬星間物質からのアミノ酸・核酸関連分子の生成とそのロバストネス
○小林 憲正¹, 時村 隼人², 松田 知之², 榎本 真悟², 癸生川 陽子², 金子 竹男², 大林 由美子², 三田 肇³, 吉田 聡⁴, 福田 一志⁵, 小栗 慶之⁵ (横浜国立大学, 自然科学研究機構, 横浜国立大学, 福岡工業大学, 放射線医学総合研究所, 東京工業大学)

10:05-10:20 1E05

アミノ酸の衝撃化学反応 - 反応の温度依存性
○菅原 春菜¹, 三村 耕一² (海洋研究開発機構, 名古屋大学大学院)

10:20-10:35 1E06

ホウ酸共存環境におけるアデノシンのリン酸化: RNA の起源に関する有機地球化学
○古川 善博¹, Hyo-joong Kim², Daniel Hutter², Steven Benner² (東北大学, Foundation for applied molecular evolution)

10:35-10:45 休憩

10:45-11:00 1E07

熱水中のアミノ酸の存在形態と安定性
○淵田 茂司¹, 益田 晴恵¹ (大阪市立大学大学院)

11:00-11:15 1E08

グリシン重合化に及ぼす鉱物種の影響
○大西 浩之¹, 北台 紀夫², 福士 圭介¹ (金沢大学, 東京工業大学)

11:15-11:30 1E09

カナダ・ラブラドルネーン岩体の地球最古の表成岩から読み解く初期地球の表層環境
○小宮 剛¹, 山本 伸次¹, 青木 翔吾¹, 田代 貴志¹, 石川 晃¹, 堀 真子², 石田 章純², 佐野 有司², 平田 岳史³ (東京大学・駒場, 東京大学・大気海洋研, 京都大学)

11:30-11:45 1E10

初期地球大気における有機物エアロゾル: 気候安定性・大気進化に対する役割
○関根 康人¹, 小林 潤平¹, 洪 鵬¹ (東京大学)

11:45-12:00 1E11

前期太古代の浅海域~陸域(?)における熱水活動と生物多様性
○杉谷 健一郎¹, 三村 耕一¹, 山口 能央², 竹内 誠¹, 浅原 良浩¹, 仙田 量子³, 鈴木 勝彦³ (名古屋大学, 東京大学, 海洋研究開発機構)

12:00-12:15 1E12

縞状鉄鉱石中の窒素・鉄同位体組成が示す始生代海洋表層における窒素サイクルとその変動
○橋爪 光¹, ピンティ ダニエレ ルイーニ² (大阪大学, 東京大学)

12:15-12:30 1E13

数値モデルによる原生代初期酸素濃度進化の制約: 全球凍結後のオーバーシュートと深海の富酸素化
○原田 真理子¹, 尾崎 和海², 田近 英一¹, 関根 康人¹ (東京大学大学院, 東京大学大気海洋研究所)

【B会場】

セッションG09 生物と有機物の地球化学

コンピーナ: 大河内直彦・瀬戸蘭美・川口慎介・沢田健

14:00-14:30 1B01 (基調講演)

ニューカレドニア国鳥カグーの羽におけるニッケルおよび微量元素蓄積
○渡邊 泉¹、羽田徳士²、佐藤 望²、岡久雄二²、Jörn Theuerkauf³、上田
恵介²、Ralph Kuehn⁴、Roman Gula^{3,1} 東京農工大学、²立教大学、³Polish
Academy of Sciences、⁴New Mexico State University)

14:30-14:45 1B02

ボックスモデル計算による化学合成細菌群衆の地球化学的ニッチの検証
○瀬戸 蘭美¹(奈良女子大学)

14:45-15:00 1B03

岐阜県美濃赤坂石灰岩地帯に発達する土壌の生物地球化学的サイクル
○上野 振一郎¹、杉谷 健一郎¹(名古屋大学)

15:00-15:15 1B04

微生物生成水酸化鉄の堆積物中で起きる鉄および炭素の生物地球化学的
循環
○菊池 早希子¹、牧田 寛子²、今野 祐多²、白石 史人¹、高井 研²、高橋
嘉夫^{3,1} 広島大学、²海洋研究開発機構、³東京大学)

15:15-15:30 1B05

ゼンマイによる塩化メチル放出量の変動とその要因
○横内 陽子¹、宮崎 雄三²、河村 公隆²、日浦 勉^{2,1} 国立環境研究所、²北
海道大学)

15:30-15:45 1B06

森林土壌の有機物分解速度のCO₂濃度依存性の調査
○小島 侑也¹、森泉 純¹、山澤 弘実¹(名古屋大学)

15:45-16:00 1B07

硝酸の三酸素同位体組成を指標に用いた中栄養湖沼における窒素循環解
析
○宮内 貴規¹、大山 拓也¹、角皆 潤¹、中川 書子¹、小松 大祐¹(名古屋大学大
学院)

16:00-16:15 1B08

炭素および水素安定同位体比を用いた天然環境下におけるメタン酸化過
程解析
○松下 俊之¹、角皆 潤¹、中川 書子¹、小松 大祐¹(名古屋大学大学院)

16:15-16:30 1B09

C4植物の有機態窒素利用: アミノ酸の同位体比解析から得られた証拠
○カ石 嘉人¹、高野 淑識¹、大河内 直彦¹(独立行政法人海洋研究開発機
構)

16:30-16:45 1B10

現代人は何を食べているか? 爪のアミノ酸窒素同位体比からみた食性
解析
○大河内 直彦¹、カ石 嘉人¹(海洋研究開発機構)

16:45-17:00 1B11

ヒト歯牙エナメル質中¹⁴Cを用いた人体年齢の精密推定
○國田 圭佑¹、中村 俊夫¹(名古屋大学)

17:00-17:15 1B12

ハプト藻の熱分解実験による藻類脂質の分解過程の検討: パイオ燃料生産
への応用
○阿部 涼平¹、沢田 健¹、中村 英人¹、新家 弘也²、鈴木 石根²、白岩 善博²(
北海道大学、²筑波大学)

17:15-17:30 1B13

南東フランスおよび北海道の白亜系 Cenomanian/Turonian 境界層準の低
熱成堆積岩に見られるトコフェロール組成の多様性
○安藤 卓人¹、沢田 健¹、高嶋 礼詩²、西 弘嗣²(北海道大学、²東北大学)

【E会場】

セッションG05 海洋における微量元素・同位体

コンピーナ: 小畑元・則末和宏・堀川恵司

14:00-14:15 1E14

北大西洋における溶存態微量元素金属の分布: GEOTRACES&CLIVAR 国際
海洋観測プログラム
○八田真理子¹、Christopher I. Measures¹(University of Hawaii)

14:15-14:30 1E15

相模湾および伊豆小笠原海溝域における鉄・亜鉛の挙動
○小畑 元¹、西岡 純²、金 泰辰¹、則末 和宏³、武田 重信⁴、湧田 陽平⁴、
蒲生 俊敬¹(東京大学、²北海道大学、³新潟大学、⁴長崎大学大学院)

14:30-14:45 1E16

Dissolved zinc and its speciation in the northeastern Indian Ocean and
Andaman Sea
○Taejin Kim¹、Hajime Obata¹、Toshitaka Gamo¹(Atmosphere and Ocean
Research Institute, The University of Tokyo)

14:45-15:00 1E17

西部北太平洋および縁辺海における白金の分布
○鈴木 麻彩実¹、小畑 元¹、大久保 綾子²、蒲生 俊敬¹(東京大学大気海
洋研究所、²日本原子力研究開発機構)

15:00-15:15 1E18

北極海およびベーリング海におけるヨウ素の存在状態
○三輪 一爾¹、小畑 元¹、鈴木 崇史²、蒲生 俊敬¹(東京大学、²日本原子
力研究開発機構)

15:15-15:25 休憩

15:25-15:40 1E19

海洋魚の¹²⁹I/²⁷¹I 同位体比
○楠野 葉瑠香¹、松崎 浩之¹、徳山 裕憲¹、宮入 洋介¹、永田 俊¹、横山 祐典¹、
大河内 直彦²(東京大学、²海洋研究開発機構)

15:40-15:55 1E20

鉄安定同位体を用いた海洋生物の鉄代謝評価法の開発
○山方 優子¹、田中 佑樹¹、平田 岳史¹(京都大学大学院)

15:55-16:10 1E21

壱岐サンゴによる²³⁶Uの日本海への供給史復元
○野村 知哉¹、坂口 綾²、Peter Steier³、渡邊 貴昭⁴、渡邊 剛⁴、高橋 嘉夫⁵、山野
博哉⁶(広島大学、²筑波大学、³University of Vienna、⁴北海道大学、⁵東京大学、⁶
国立環境研究所)

16:10-16:25 1E22

マンガン・ジュール中の希土類元素組成の再考
○立花 千恵子¹、赤木 右¹(九州大学)

16:25-16:40 1E23

自己無撞着計算によるケイ藻ケイ酸殻の希土類元素組成の推定
○西野 博隆¹、赤木 右¹(九州大学)

【C会場】

夜間セッション(17:40-19:20)

「地球化学の研究資金獲得に向けて-科研費の積極的獲得を中心に-」

1. 地球化学関連分野・細目の採択動向と効果的な種目の選び方
野尻幸宏(国立環境研究所) 25分
2. より良い課題提案について: 基盤研究(A・B・C)
吉田尚弘(東京工業大学) 20分
3. より良い課題提案について: 挑戦的萌芽研究、若手研究
鍵 裕之(東京大学) 20分
4. 日本学術振興会特別研究員申請を成功させるには
川柳穂高(東京大学) 20分
5. 質疑応答 15分

科学研究費補助金(科研費)は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、ピア・レビューによる審査を経て、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものである。

多くの大学および研究機関において、外部研究資金の獲得が発展的な研究に必須な現状において、あらゆる学問分野・課題の応募が可能な科研費の獲得は欠かせないものであり、本学会の振興のために、会員の科研費申請を奨励し、かつ採択課題を増やすことは、学会に課された使命の一つと認識している。

多くの大学で、科研費獲得のための指導・レクチャー等を実施しているが、研究機関等でその機会はほとんどない。また、小規模機関・大学では、科研費採択実績の豊富な研究者を確保して指導に充てるのが難しい。

そこで、本学会の年会行事として、外部研究資金獲得促進活動の一つとして、最も主要な資金である科研費の獲得に資するセッションを企画した。本セッションのレクチャーは、学術創生研究費や基盤S等の大型科研費獲得実績を有し、科研費の審査経験も豊富である。実践的観点から、採択のために効果的なティップを示す。

【観点】

- ・ どの分野・細目・種目に提案すべきか?
- ・ 良い提案書の書き方は?
- ・ 審査員は何を見て評価するのか?
- ・ 1段審査、2段審査の仕組みは?
- ・ 若手研究者のアピールの仕方は?

本セッションにより、本会員の科研費採択数の増加を目指す。本会としては、来年以降も会員の外部資金獲得を増やすために、その他の競争的研究資金等に関する情報提供や外部資金獲得技術の会員向け普及に努めたいと考えている。

セッションG01 大気微量成分の地球化学

1P01

西シベリア上空における対流圏N₂Oアイソトポマー比の経年変化
○豊田 栄¹, 町田 敏暢², 遠嶋 康徳², 石島 健太郎³, 吉田 尚弘¹(¹東京工業大学,²国立環境研究所,³海洋研究開発機構)

1P02

火山起源エアロゾル中の鉄の化学種同定と海洋への溶解性の評価
○宮原 彩¹, 古谷 浩志², 植松 光夫², 高橋 嘉夫²(¹広島大学,²東京大学)

1P03

太平洋で採取された海洋大気中の鉄含有粒子: 水溶性物質との混合状態
○三木 裕介¹, 岩本 洋子¹, 三浦 和彦¹, 古谷 浩志², 植松 光夫²(¹東京理科大学,²東京大学)

1P04

飛沫から生成する海洋起源エアロゾルの化学的特徴-植物プランクトンを培養した海水を用いた室内実験
○岩本洋子^{1,2}, 持田陸宏¹, Sandric C. Y. Leong^{3,4}, 石坂丞二⁴(¹名大院環境,²東京理科大学理学部第一部,³National University of Singapore,⁴名大院環境)

1P05

沖縄におけるエアロゾル中バイオマス燃焼の有機トレーサーの冬季最大値について
○朱 春茂¹, 河村 公隆¹(北海道大学)

1P06

沖縄辺戸岬で採取した大気エアロゾル中の人為起源金属成分の挙動解析
○村山仁美¹, 畦地総太郎¹, 津波古愛¹, 宮城陽一¹, 笠羽知葉¹, 新垣雄光²(¹琉球大学大学院理工学研究所,²琉球大学理学部)

1P07

モンゴルウランバートル市におけるSPMの化学組成とその起源推定
○福田 紘之¹, 長谷川 精¹, 山本 鋼志¹(名古屋大学)

セッションG04 鉱物境界面の地球化学、水-岩石相互作用

1P08

XAFS法から探るイオン半径に応じた沈殿速度と分配係数の関係
○徳永 紘平¹, 横山 由佳¹, 高橋 嘉夫²(¹広島大学大学院,²東京大学大学院)

1P09

マレーシアの汚染河川におけるREE, U, およびThの地球化学的挙動
○伊藤茜¹, 大竹翼¹, 安楽総太郎¹, Kamar Shah Ariffin², Fei Yee Yeoh², 佐藤努¹(¹北海道大学大学院工学院,²School of Materials and Mineral Resources Engineering, Universiti Sains Malaysia)

1P10

Ca²⁺-Mg²⁺-CO₃²⁻溶液からの鉱物生成・変質のその場赤外分光観察
白井 涼大¹, 福士 圭介², 北台 紀夫²(¹金沢大学,²東京工業大学)

1P11

シリカゲルの溶解に及ぼすZnとCdイオンの影響
○荒木 理成¹, 江藤 真由美¹, 川本 大祐¹, 大橋 弘範¹, 本間 徹生², 岡上 吉広¹, 横山 拓史¹(¹九州大学,²公益財団法人高輝度光科学研究センター)

セッションG05 海洋における微量元素・同位体

1P12

海底熱水鉱床探査ツールとしての深海水銀センサーの開発
○山本 正浩¹, 児玉谷 仁², 河野 百合子², 武内 章記³, 高井 研¹, 富安 卓彦², 丸茂 克美⁴(¹海洋研究開発機構,²鹿児島大学,³国立環境研究所,⁴富山大学)

1P13

Sr, Nd同位体比と化学組成から読み解くオホーツク海北西陸棚域におけるアムール川起源碎屑物の分布と輸送過程
○安田 友紀¹, 浅原 良浩¹, 市川 諒¹, 中塚 武², 西岡 純³, 南 秀樹⁴, 長尾 誠也⁵(¹名古屋大学,²総合地球環境学研究所,³北海道大学,⁴東海大学,⁵金沢大学)

1P14

従来のケイ藻オパール分析法では捉えられないケイ藻ケイ酸殻の化学組成
○江本 真理子¹, 赤木 右¹, 高橋 孝三²(¹九州大学,²北星学園大学)

1P15

魚化石のネオジム同位体比を用いた日本海底層水の起源解析
○小坂 由紀子¹, 堀川 恵司¹, 浅原 良浩², 張 勁¹(¹富山大学,²名古屋大学)

1P16

Biogeochemical process of surface sediment in the Chukchi Sea by using rare earth element
○Kai JIANG, Jing ZHANG(University of Toyama)

1P17

東シナ海大陸棚縁域におけるクロロフィルおよび栄養塩の分布と基礎生産の推定
○藤城 義久¹, 張 勁¹, 松野 健², 石坂 丞二³(¹富山大学,²九州大学,³名古屋大学)

1P18

化学トレーサーを用いた東シナ海低酸素水塊構造の実態解明
○樊 志遠¹, 張 勁¹, 麻 洪良²(¹富山大学,²中国海洋大学)

セッションG06 炭化水素資源の地球化学・深部炭素循環

1P19

幌延地域の地下深部環境におけるメタンおよび二酸化炭素の生成過程について
○宮川 和也¹, 水野 崇¹, 廣田 明成², 小松 大祐³, 角皆 潤³(¹日本原子力研究開発機構,²産業技術総合研究所,³名古屋大学大学院)

1P20

UT13航海における日本海の表層型ガスハイドロートの生成とガス・間隙水の地球化学
○尾張 聡子¹, 鈴木 善晴¹, 戸丸 仁¹, 松本 良², 表層ガスハイドレート研究コンソーシアム(¹千葉大学院,²明治大学)

1P21

メタン生成アーキアの存在および嫌氣的メタン酸化環境のバイオマーカーである2-および3-ヒドロキシアーキオールの立体化学
○山内 敬明¹(九州大学)

1P22

減衰全反射顕微赤外分光(μ ATR-IR法)による石炭マセラルのキャラクタリゼーション
○塔ノ上 亮太¹, 桂 誠¹, 中嶋 悟¹, 中西 一晃², 矢澤 明子²(¹大阪大学,²ジャスコエンジニアリング株式会社)

1P23

閉鎖系・準開放系熱分解実験による石炭起源ガスの排出温度推定
○高橋 幸士¹, 鈴木 德行¹, 齋藤 裕之¹(北海道大学)

1P24

高圧下におけるベンゼンの安定性と重合反応
○篠崎 彩子¹, 三村 耕一², 鍵 裕之¹, 小松 一生¹, 野口 直樹³, 後藤 弘匡¹(¹東京大学,²名古屋大学,³広島大学)

セッションG09 生物と有機物の地球化学

1P25

好熱性アーキアによるアンモニア酸化の窒素・酸素同位体分別
○西澤 学¹, 酒井 早苗¹, 高井 研¹(海洋研究開発機構)

1P26

FTICR-MSにより同定された分子式に基づく土壌フミン酸の成分組成の比較
○池谷 康祐¹, Rachel L. Sleighter², Patrick G. Hatcher², 渡邊 彰¹(¹名古屋大学,²Old Dominion University)

第1日目(9月16日)ポスターセッション
ポスター会場(D21,D22), コアタイム 12:30-14:00

1P27

沖縄トラフ伊平屋北熱水域におけるIODP Exp.331掘削の事後潜航調査が明らかにした5つの事実
○川口 慎介¹(海洋研究開発機構)

1P28

IODP 第338次航海で採取した海底堆積物中のアミノ酸の分布とその特徴
○淵田 茂司¹,岡崎 香生里¹,益田 晴恵¹(大阪市立大学大学院)

1P29

アミノ酸分析によるアタカマ砂漠土壌の生命活動評価
○石川 優人¹,栗塚 泰平¹,宮本 妃菜¹,大林 由美子¹,金子 竹男¹,癸生川 陽子¹,小林 憲正²,Rafael Navarro-Gonzalez³(¹横浜国立大学,²横浜国立大学;自然科学研究機構,³メキシコ国立自治大学)

1P30

非メタン炭化水素測定時に使用する水から発生する非メタン炭化水素とその除去法
○猪狩 俊一郎¹(産業技術総合研究所)

1P31

始生代ケロジェンとその構成炭素質物質の分布と構造
○杉田 隼人¹,北島 富美雄²,島田 和彦²,奈良岡 浩²,清川 昌一²(九州大学大学院,²九州大学)

1P32

火成岩貫入による泥岩の最高到達温度の見積もりと泥岩中有機物の組成変化
○浅居 大記¹,西田 民人¹,奥村 文章²,Simon Wallis¹,三村 耕一¹(¹名古屋大学,²石油資源開発(株)技術研究所)

セッションG10 水圏環境の地球化学

1P33

旧水銀鉱山周辺土壌における総水銀およびメチル水銀の分布
○児玉谷 仁¹,前田 千尋¹,外園 寿宗¹,神崎 亮¹,富安 卓滋¹(¹鹿児島大学)

1P34

化学種解析にもとづくタリウムの水-土壌・堆積物間の分配挙動
○渡辺 勇輔¹,高橋 嘉夫¹(¹東京大学大学院)

1P35

都市域における環境中のヒ素の挙動に関する研究
○青木 隆太郎¹,小豆川 勝見¹,松尾 基之¹(¹東京大学)

1P36

富栄養化湖沼における窒素循環速度の定量:硝酸の天然同位体トレーサーを用いた解析
○中川 書子¹,大山 拓也¹,角皆 潤¹,小松 大祐²,梅田 信³(¹名古屋大学,²東海大学,³東北大学)

1P37

天野川の塩基性化に関する研究(1)
○中口 譲¹,池田 善紀¹,濱屋 心¹,高山 真太郎¹,朝倉 知也¹(¹近畿大学)

1P38

河床礫付着物の化学組成および炭素・窒素安定同位体比 -三重県松阪市榑田川における事例研究-
○杉谷 健一郎¹,森 直樹¹,笠井 光¹,上野 振一郎¹,佐藤 都²,原田 尚美²(¹名古屋大学,²海洋研究開発機構)

1P39

ベトナム北部を流れる紅河河水の主成分の季節変化
○井上凌¹,益田晴恵¹,米澤剛²,Truong Xuanluang³,Hang Do Thi³,新谷毅¹,日高伸也¹(¹大市大理院,²大市大環境都市研究科,³ハノイ鉱山地質大学)

1P40

スズ箔への直接蒸発乾固による天水中の硫黄同位体比測定法の検討
○眞坂 昂佑¹,植村 立¹,宮城 正宙¹,松本 理誠¹,植村 美希¹(¹琉球大)

1P41

地球化学的手法を用いた岡山県一級水系の水質研究
○亀井 隆博¹,山下 勝行¹,大西 彩月¹,栗原 洋子¹,千葉 仁¹,中野 孝教²(¹岡山大学,²総合地球環境学研究所)

1P42

Helium, carbon and nitrogen in a bedrock aquifer of the St-Lawrence Lowlands, eastern Canada
Pauline Mejean¹,ODaniele L. Pinti^{1,2}, Naoto Takahata², Hsin-yi Wen^{2,3}, Yuji Sano², Marie Larocque¹(¹AORI, Un. Tokyo, ²GEOTOP, UQAM, ³National Taiwan Un.)

1P43

大阪平野の地下水流動系可視化のための水質三次元マッピング
○新谷毅¹,益田晴恵¹,井上凌¹,淵田茂司¹,Emilie EVEN¹,根本達也¹,升本真二¹,森川 徳敏²,安原正也²,中野孝教³(¹大阪市立大学大学院,²産業技術総合研究所,³総合地球環境学研究所)

1P44

地下水試料における採取後の炭素同位体比の変化
○高橋 浩¹,半田 宙子¹(産業技術総合研究所)

1P45

地下水試料の放射性炭素分析における採取容器による経時変化の違い
○高橋 浩¹,南 雅代²,半田 宙子¹,荒巻 能史³,中村 俊夫²(¹産業技術総合研究所,²名古屋大学,³国立環境研究所)

1P46

水試料の化学処理法の違いによる¹⁴C相互比較
○南 雅代¹,高橋 浩²,荒巻 能史³,半田 宙子²,板木 さゆり³,中村 俊夫¹(¹名古屋大学,²産業技術総合研究所,³国立環境研究所)

1P47

熊野灘南海トラフにおけるヒ素の分布
○吉西 晴香¹,益田 晴恵¹,土岐 知弘²,中野 孝教³,申 基澈³(¹大阪市立大学,²琉球大学,³総合地球環境学研究所)

1P48

鹿児島湾奥部陥没カルデラ底から噴出するCO₂のフラックス見積へのCH₄酸化の及ぼす影響
○金銅 和菜¹,奥西 勇介¹,山本 智子²,山中 寿朗¹(¹岡山大学,²鹿児島大学)

セッションG15 初期地球と生命起源の地球化学

1P49

プロテノイドミクロスフェアとそれを形成するプロテノイド
香田 輝¹,仲井 貴弘¹,金丸 博¹,鶴山 真美¹,桑原 裕典¹,○三田 肇¹(¹福岡工業大学)

1P50

陸上蛇紋岩温泉における炭化水素生成メカニズムの解明:白馬八方温泉の安定同位体比分析
○須田 好¹,上野 雄一郎¹,Alexis Gilbert¹,山田 桂大¹,吉田 尚弘¹,丸山 茂徳¹(¹東京工業大学)

1P51

35億年前の南アフリカ・バーバートン緑色岩帯における高解像度四種硫黄同位体比分析
○三島 郁¹,上野 雄一郎¹,Maarten de Wit²,Harald Fumes³,齋藤 拓也¹(¹東京工業大学,²ネルソンマンデラメトロポリタン大学,³ベルゲン大学)

1P52

南アフリカ・バーバートン地域ムーディーズ層群中の縞状鉄鉱層中におけるクロム濃集の空間的広がりに
○石川 宏¹,大竹 翼¹,川井 洋二²,佐藤 努¹,掛川 武²(¹北海道大学大学院工学研究院,²東北大学大学院理学研究科)

1P53

玄武岩とコマチアイトの四種硫黄同位体比から制約する太古代海底下の微生物硫酸還元活動
○青山 慎之介¹,上野 雄一郎¹(¹東京工業大学)

【A会場】

セッションF1 地球化学を先導する研究計画検討会
コンピーナ: 高橋嘉夫・川柳龍高

9:30-9:45 2A01

宇宙化学分野からの提案

○日高 洋¹, 寺田 健太郎², 坂本 尚義³(¹広島大学, ²大阪大学, ³北海道大学)

9:45-10:00 2A02

固体地球化学分野からの提案: ビッグデータ解析とその本質

○岩森 光¹, 鍵 裕之², 鈴木 勝彦³, 折橋 裕二⁴(¹海洋研究開発機構 / 東京工業大学, ²東京大学, ³海洋研究開発機構)

10:00-10:15 2A03

飛行艇を利用した新しい大気・海洋観測: 大気・海洋分野からの提案

○角皆 潤¹, 小畑 元², 川口 慎介³(¹名古屋大学, ²東京大学, ³海洋研究開発機構)

10:15-10:30 2A04

砕氷船を利用した海水・海洋の生物地球化学研究

○野村 大樹¹, 西岡 純², 川合 美千代³, 大木 淳之⁴, 田村 岳史⁵(¹北海道大学低温科学研究所, 日本学術振興会, ²北海道大学低温科学研究所, ³東京海洋大学, ⁴北海道大学大学院水産科学研究院, ⁵国立極地研究所)

10:30-10:45 2A05

次世代の有機物・生命の地球化学

○奈良岡 浩¹, 藪田 ひかる²(¹九州大学, ²大阪大学)

10:45-11:00 2A06

古気候・古環境分野からの提案

○原田 尚美¹, 大河内 直彦¹, 南 雅代², 関 幸³, 岡崎 裕典⁴(¹独海洋研究開発機構, ²名古屋大学, ³北海道大学, ⁴九州大学)

11:00-11:15 2A07

分野横断的な新しい質量分析計の開発

○平田 岳史¹, 佐野 有司², 角皆 潤³, 寺田 健太郎⁴(¹京都大学大学院²東京大学, ³名古屋大学, ⁴大阪大学)

11:15-11:30 2A08

多重周回飛行時間型質量分析計 MULTUM が拓くリアルタイム・オンサイト地球化学

○角野 浩史¹, 豊田 岐聡², 青木 順², 河井 洋輔², 中山 典子¹, 古谷 浩志¹, 丸岡 照幸³, 橋 省吾⁴, 西尾 嘉朗⁵, 折橋 裕二¹, 森 俊哉¹, 寺田 健太郎²(¹東京大学, ²大阪大学, ³筑波大学, ⁴北海道大学, ⁵海洋研究開発機構)

11:30-11:45 2A09

分子地球化学: 化学的素過程解明による地球環境の精密予測

○高橋 嘉夫¹, 石橋 純一郎², 益田 晴恵³, 山岡 香子⁴(¹東京大学, ²九州大学, ³大阪市立大学, ⁴産業技術総合研究所)

11:45-12:00 2A10

沖縄トラフの海底資源環境研究の拠点形成

○土岐 知弘¹(¹琉球大学)

12:00-12:30 自由討論

【B会場】

セッションG09 生物と有機物の地球化学
コンピーナ: 大河内直彦・瀬戸麻美・川口慎介・沢田健

8:45-9:15 2B01 (招待講演)

海洋性微細藻類の増殖を制御する微量元素セレン

○新家 弘也¹(¹筑波大学)

9:15-9:30 2B02

南極スカルプスネス露岩地域に分布する湖沼の堆積物のバイオマーカーに記録された古環境・古生態系変動

竹田 真佑美¹, 沢田 健¹, 高野 淑識²(¹北海道大学, ²海洋研究開発機構)

9:30-9:45 2B03

ハプト藻イソクリシス科 *Tisochrysis* および *Isochrysis* のアルケノン組成の化学分類学的特徴

○中村 英人¹, 沢田 健¹, 新家 弘也², 鈴木 石根², 白岩 善博²(¹北海道大学大学院, ²筑波大学)

9:45-10:00 2B04

白亜系双葉層群の炭質物濃集層から産出した炭化および非炭化植物化石の抵抗性高分子分析: 植物化石の化学分類

○宮田 遊磨¹, 沢田 健¹, 中村 英人¹, 高橋 正道²(¹北海道大学, ²新潟大学)

[C会場]

セッションG01 大気微量成分の地球化学

コンピーナ: 宮崎雄三・岩本洋子・谷本浩志・豊田栄・松本潔・持田陸宏・角皆潤

10:00-10:15 2C01

大気中の不溶性シュウ酸錯体: その安定性や地球冷却効果との関連
○山川 庸芝明¹,坂田 昂平²,宮原 彩²,宮本 千尋³,坂口 綾⁴,高橋 嘉夫¹
(¹東京大学大学院,²広島大学大学院,³広島大学,⁴筑波大学大学院)

10:15-10:30 2C02

イソプレンのオゾン酸化によって生成する低分子ジカルボン酸・オキソ酸・ α -ジカルボニル
○河村 公隆¹,立花 英里¹,坂本 陽介¹,廣川 淳¹(北海道大学)

10:30-10:45 2C03

Increasing trend of glyoxal and methylglyoxal in atmospheric aerosols in East Asia
○Kundu Shuvashish¹,Kawamura Kimitaka¹,Kobayashi Minoru¹,Tachibana Eri¹,Lee Meehye²,Jung Jinsang³(¹北海道大学,²Korea University,³Korea Research Institute of Standards and Science)

10:45-11:00 2C04

大気中の有機態窒素生成に関する全球化学輸送モデルの開発
○伊藤 彰記¹,Lin Guangxing²,Penner E. Joyce²(¹海洋研究開発機構,²ミシガン大学)

11:00-11:15 2C05

大気からの有機態窒素の沈着
○松本 潔¹,田草川 文¹,山本 裕也¹(山梨大学)

11:15-11:30 2C06

エアロゾル中におけるホウ素の挙動およびその同位体分別に関する研究
○坂田 昂平¹,坂口 綾²,高橋 嘉夫³,永石 一弥⁴,谷水 雅治⁵(¹広島大学,²筑波大学,³東京大学,⁴マリン・ワーク・ジャパン,⁵海洋研究開発機構)

11:30-11:45 2C07

札幌市におけるエアロゾル中の水溶性イオンおよび微量金属元素の濃度変動
○南 秀樹¹,的場 澄人²,植松 光夫³(¹東海大学,²北海道大学,³東京大学)

11:45-12:00 2C08

日本のPM_{2.5}質量濃度に対する発生源地域別の寄与
○池田 恒平¹,山地 一代²,金谷 有剛³,竹谷 文一³,Pan Xiaole⁴,駒崎 雄一³,黒川 純一⁵,大原 利真¹(¹国立環境研究所,²神戸大学,³海洋研究開発機構,⁴九州大学,⁵アジア大気汚染研究センター)

12:00-12:15 2C09

八方尾根におけるオゾンおよびCO、CO₂、CH₄濃度の変動
○岡本 祥子¹,谷本 浩志¹,奈良 英樹¹(国立環境研究所)

[E会場]

セッションG07 マントル物質の化学とダイナミクス

コンピーナ: 下田玄・鈴木勝彦・小木曾哲・石川晃

9:00-9:15 2E01

HIMU-FOZO-PREMAの成因的関連に対する解釈
○下田 玄¹,小木曾 哲²(¹産業技術総合研究所,²京都大学)

9:15-9:30 2E02

太平洋と大西洋下のHIMUの同位体進化
○羽生 毅¹,川畑 博²,巽 好幸³,木村 純一¹,兵藤 博信⁴,佐藤 佳子¹,宮崎 隆¹,常 青¹,平原 由香⁵,高橋 俊郎⁶,仙田 量子¹,中井 俊一⁷
(¹海洋研究開発機構,²高知大学,³神戸大学,⁴岡山理科大学,⁵千葉工業大学,⁶新潟大学,⁷東京大学)

9:30-9:45 2E03

7GPaにおけるザクロ石カンラン岩ソリダスマルト組成と失われた貯蔵庫の主成分元素組成
○近藤 望¹,芳野 極²,松影 香子³,吉田 健太¹,小木曾 哲¹(¹京都大学,²岡山大学,³神戸大学)

9:45-10:00 2E04

太古代バーバートン玄武岩のLu-Hf同位体分析: マントル初期進化への制約
○山口 能央¹,飯塚 毅¹,外西 奈津美²,中井 俊一²,ドゥビット・マーティン³(¹東大地球惑星科学専攻,²東大地震研究所,³ケープタウン大)

10:00-10:15 2E05

35-38億年前の玄武岩から推定されるマントルの不均質と物質循環
○佐野 文音¹,中村 仁美²,小宮 剛³,横山 哲也¹,宇野 正起⁴,木村 純一²,常 青²,岩森 光²(¹東京工業大学,²海洋研究開発機構,³東京大学,⁴東北大学)

10:15-10:25 休憩

10:25-10:40 2E06

かんらん岩の融解過程に伴う強親鉄性元素の分別作用
○石川 晃¹,仙田 量子²,谷 健一郎³,鈴木 勝彦²,石井 輝秋⁴(¹東京大学,²海洋研究開発機構,³国立科学博物館,⁴深田地質研究所)

10:40-10:55 2E07

Magmatic evidence for the Arabian plate and Biston-Avoraman block (west Iran) collision during the late Cretaceous: Sr-Nd isotopes and U-Pb ages from the acidic rocks in the Harsin area
○Nouri Fatemeh¹,Azizi Hossein²,Yuji Onhashi³,Yoshihiro Asahara⁴,Koshi Yamamoto⁴(¹Tarbiat Modares University (Iran),²University of Kurdistan (Iran),³東京大学,⁴名古屋大学)

10:55-11:10 2E08

オスミウム同位体組成と天然多結晶ダイヤモンド(カルボナド)の起源
○白石 智子¹,仙田 量子²,鍵 裕之¹,角野 浩史¹,鈴木 勝彦²(¹東京大学大学院理学系研究科,²海洋研究開発機構)

11:10-11:25 2E09

北西太平洋のアウトターライズ手前で活動したプチスポット初生マグマの最終平衡温度圧力条件
○町田 嗣樹¹,小木曾 哲²,平野 直人³(¹早稲田大学,²京都大学,³東北大学)

11:25-11:40 2E10

一ノ目淵におけるマントル・下部地殻捕獲岩のSr、Nd、Hf、Pb同位体組成
○岡林 識起¹,福山 繭子¹,Nguyen Hoang²,小笠原 正継³(¹秋田大学,²ベトナム科学技術アカデミー,³産業技術総合研究所)

第2日目(9月17日)午後
総会・受賞講演(G会場 黒田講堂)

13:00-14:00

総会

・ 総会議事

14:00-15:00

タスクフォース会議

15:00-15:10 休憩

受賞講演

15:10-15:35 2G01 (奨励賞)

炭酸塩試料を用いた陸域での物質循環と第四紀気候研究

堀 真子¹(¹東京大学)

15:35-16:00 2G02 (奨励賞)

隕石の海洋衝突模擬実験によるアミノ酸などの生成に関する研究

古川 善博¹(¹東北大学)

16:00-16:25 2G03 (奨励賞)

Re-Os 年代測定法による硫化物鉱床の成因に関する研究

野崎 達生^{1,2}(¹海洋研究開発機構,²東大・工)

16:25-16:30 休憩

16:30-17:00 2G04 (学会賞)

希ガス同位体による地球内部構造進化に関する研究

本田 勝彦¹(¹オーストラリア国立大学)

17:00-17:30 2G05 (柴田賞)

地球史における硫黄循環に関する研究

大本 洋¹(¹ペンシルヴァニア州立大学)

【A会場】

セッションG08 宇宙化学・惑星化学
コンピーナ: 寺田健太郎・奈良岡浩・塚本尚義

9:00-9:15 3A01

ACE 衛星による太陽大気中の C¹⁸O/CO スペクトルの観測
○山田 明憲¹, 佐川 英夫², Kaley Walker³, Peter Bernath⁴, Chris Boone⁵, 小嶋 稔⁶, 笠井 康子⁷(¹東京大学, 情報通信研究機構, ²京都産業大学, ³University of Toronto, ⁴Old Dominion University, ⁵University of Waterloo, ⁶東京大学, ⁷情報通信研究機構)

9:15-9:30 3A02

星間塵表面反応で生成する水の氷素同位体組成
○大場 康弘¹, 渡部 直樹¹, 香内 晃¹(¹北海道大学)

9:30-9:45 3A03

Magnesium and chromium isotope systematics of Allende CAIs
○Katsuyuki Yamashita¹, Josh Wimpenny², Matthew Sanborn², Seiji Maruyama³, Qing-zhu Yin²(¹Okayama University, ²University of California, Davis, ³Kyoto Fission-Track Co., Ltd.)

9:45-10:00 3A04

超高精度同位体分析によるコンドライト隕石全岩のNd同位体比測定
○深井 稜汰¹, 横山 哲也¹, 高橋 宏和¹(¹東京工業大学)

10:00-10:15 3A05

惑星物質のカルシウム同位体組成
○三澤 啓司¹, 横山 立憲², 米田 成一²(¹国立極地研究所, ²国立科学博物館)

10:15-10:30 3A06

月最表層物質中にみられるバリウム同位体変動
○日高 洋¹, 米田 成一²(¹広島大学, ²国立科学博物館)

10:30-10:45 休憩

10:45-11:15 3A07 (招待講演)

r核種中性子星合体起源説を示唆する銀河の化学進化
○辻本 拓司¹, 茂山 俊和²(¹国立天文台, ²東京大学)

11:15-11:30 3A08

太陽系内の熱プロセスと隕石の重元素同位体異常
○横山 哲也¹, 深海 雄介¹, 永井 友一朗¹, 中本 泰史¹(¹東京工業大学)

11:30-11:45 3A09

Allende 隕石の耐酸性残渣中のテルル同位体異常
○深海 雄介¹, 横山 哲也¹, 奥井 航¹(¹東京工業大学)

11:45-12:00 3A10

アエンデコンドコンリュール及びマトリックスのストロンチウム安定同位体異常
○奥井 航¹, 横山 哲也¹(¹東京工業大学)

12:00-12:15 3A11

AGB 星 He 層内で生成される s プロセス核種の同位体の温度・中性子密度依存性とプレソーラーSiC との比較
○寺田 健太郎¹, 岩本 信之², 青木 和光³, 吉田 敬⁴(¹大阪大学, ²日本原子力研究開発機構, ³国立天文台, ⁴京都大学)

【B会場】

セッションG02 古気候・古環境解析の地球化学
コンピーナ: 中塚武・入野智久・横山祐典・渡邊剛・原田尚美

9:00-9:15 3B01

ベーリング海低塩分水の北極海への流入による鮮新世の寒冷化
○堀川 恵司¹, エレン・マーティン², 小野寺 文尚太郎³, 関 宰⁴, 坂本 竜彦⁵, 池原 実⁶, 坂井 三郎³, 河村 公隆⁴(¹富山大学, ²フロリダ大学, ³海洋研究開発機構, ⁴北海道大学, ⁵三重大学, ⁶高知大学)

9:15-9:30 3B02

オマーン周辺海域におけるサンゴ骨格を用いた高時間分解能古環境復元
○渡邊 貴昭¹, 渡邊 剛¹, 山崎 敦子², Miriam Pfeiffer³, Dieter Garbe-Schönberg⁴, Michel R. Claereboudt⁵(¹北海道大学, ²東京大学, ³RWTH Aachen, ⁴CAU Kiel, ⁵Sultan Qaboos University)

9:30-9:45 3B03

サンゴ骨格の化学成分変動に与える共生藻の影響
○井上 麻夕里¹, 中村 崇², 井口 亮³, Nikolaus Gussone⁴, 鈴木 淳⁵, 横山 祐典⁶, 川幡 穂高⁶, 酒井 一彦⁷(¹岡山大学大学院自然科学研究科, ²琉球大学理学部, ³沖縄工業高等専門学校, ⁴ミュンスター大学, ⁵産業技術総合研究所, ⁶東京大学大気海洋研究所, ⁷琉球大学熱帯生物圏研究センター)

9:45-10:00 3B04

カリブ海の造礁サンゴ骨格に記録される過去90年間の北大西洋窒素固定の変遷
○山崎 敦子¹, Steffen Hetzinger², Jonas von Reumont², Carrie Manfrino³, 角 皆 潤⁴, 渡邊 剛⁵(¹東京大学, ²GEOMAR Helmholtz-Zentrum für Ozeanforschung Kiel, ³Kean University, ⁴名古屋大学, ⁵北海道大学)

10:00-10:15 3B05

Hydroclimate variability over last two and a half centuries inferred from oxygen isotope records of *Abies homolepis* tree-ring in Shikoku, southwestern Japan
OLI Zhen¹, NAKATSUKA Takeshi^{1,2}, SANO Masaki²(¹Graduate School of Environment Studies, Nagoya University, ²Research Institute of Humanity and Nature)

10:15-10:30 3B06

アイスコア解析から明らかになった十年規模の気候変動に対する炭素質エアロゾルのインパクト
○関 宰¹, 河村 公隆¹, 藤井 理行², James Bendle³(¹北海道大学, ²極地研究所, ³バーミンガム大学)

10:30-10:45 休憩

10:45-11:00 3B07

小川原湖堆積物コア中のSr同位体比と古塩分濃度指標
○豊田 和弘¹, 米田 成一², 米延 仁志³(¹北海道大学, ²国立科学博物館, ³鳴門教育大学)

11:00-11:15 3B08

化石サンゴのウラン系列年代測定を用いた、琉球列島黒潮流域の放射性炭素海洋リザーバー年代への考察
○関 有沙¹, 横山 祐典¹, 鈴木 淳², 宮入 陽介¹, 菅 浩伸³, 松崎 浩之¹, Tezer Esat⁴, Stephen Eggins⁴(¹東京大学, ²産業技術総合研究所, ³九州大学, ⁴オーストラリア国立大学)

11:15-11:30 3B09

石筍中の流体包有物の水の同位体組成の分析による最終氷期の気温推定
○植村 立¹, 仲本 壮志¹, 三嶋 悟¹, 浅海 竜司¹, 儀保 雅一¹, 眞坂 昂佑¹, Chen Jing-Ping², Chung-Che Wu², Yu-Wei Chang², Chuan-Chou Shen²(¹琉球大学, ²National Taiwan University)

11:30-11:45 3B10

ニオウミドリイシ骨格による古環境復元: グレートバリアリーフの最終氷期水温推定と飼育実験による検討
○鈴木 淳¹, 西田 梢¹, 石村 豊穂², 岡井 貴司¹, 井口 亮³, 井上 麻夕里⁴, 横山 祐典⁵(¹産業技術総合研究所, ²国立茨城工業高等専門学校, ³国立沖縄工業高等専門学校, ⁴岡山大学, ⁵東京大学)

11:45-12:00 3B11

220万年前から290万年前の堆積物に基づく北大西洋の環境変動とパナマ地峡の閉鎖

○藤田 周¹, 宮川 千鶴¹, 佐藤 雅彦¹, 北 逸郎¹, 大野 正夫¹, 桑原 義博¹, 佐藤 時幸², 林 辰弥³, 齋藤 めぐみ⁴ (九州大学大学院², 秋田大学³, 御船町恐竜博物館⁴, 国立科学博物館)

12:00-12:15 3B12

中部日本における酸素同位体比変動の新解釈

○栗田 直幸¹ (名古屋大学)

12:15-12:30 3B13

Os 同位体層序による南鳥島周辺の赤色粘土堆積物の堆積年代決定の試み

○鈴木 勝彦¹, 野崎 達生¹, 飯島 耕一¹, 高谷 雄太郎¹, 藤永 公一郎², 加藤 泰浩² (海洋研究開発機構², 東京大学)

[C会場]

セッションG14 原発事故で放出された放射性核種の環境動態

コンピーナ: 田中万也・高橋嘉夫・五十嵐康人・海老原充・田副博文

8:45-9:00 3C01

日本の土壌の¹³⁷Cs吸着と土壌理化学的統計学的関係

○植松 慎一郎¹, Jean Wannijn¹, May Van Hees¹, Lieve Sweeck¹, Erik Smolders², Hildegarde Vandenhove¹ (SCK-CEN, ベルギー原子力研究所², K.U.Leuven, ルーヴェンカトリック大)

9:00-9:15 3C02

吸着剤を用いた土壌からのセシウムの長期脱離挙動

○室田 健人¹, 齊藤 拓巳², 田中 知¹ (東京大学¹, 日本原子力研究開発機構)

9:15-9:35 3C03 (招待講演)

植物中の放射性セシウムの実効半減期

○田上 恵子¹, 内田 滋夫¹ (放射線医学総合研究所)

9:35-9:50 3C04

Compact STXMによる河川懸濁粒子中の有機物-粘土鉱物複合体の分析: チェルノブイリと福島と比較

○菅 大暉¹, Qiaohui Fan², 武市 泰男³, 田中 万也¹, 坂口 綾⁴, 加藤 憲二⁵, 井波 暢人³, 間瀬 一彦³, 小野 寛太³, 高橋 嘉夫² (広島大学², 東京大学³, 高エネルギー加速器研究機構⁴, 筑波大学⁵, 静岡大学)

9:50-10:05 3C05

福島県いわき市ため池における放射性Csの堆積過程

○青井 裕介¹, 福士 圭介², 富原 聖一³, 糸野 妙子², 朝日 一成², 長尾 誠也², 柏谷 健二² (金沢大学大学院², 金沢大学³, ふくしま海洋科学館)

10:05-10:20 3C06

つくば市の降水に含まれる福島第一原発由来のトリチウム、ヨウ素-129の変遷

○丸岡 照幸¹, 川武當 崇正², 大野 剛², 村松 康行², 松本 拓也³, 松崎 浩之⁴, Pradeep Aggarwal³ (筑波大学², 学習院大学³, IAEA⁴, 東京大学)

10:20-10:35 3C07

長半減期ヨウ素 129 を用いたヨウ素 131 沈着量の推定

村松 康行¹, 松崎 浩之², 大野 剛¹, 遠山 知亜紀³, 楠野 葉瑠香² (学習院大学², 東京大学³, 海洋研究開発機構)

10:35-10:40 休憩

10:40-11:00 3C08 (基調講演)

福島第一原子力発電所事故により放出された放射性核種の海水・沈降粒子・海底堆積物における分布の実態

○山田 正俊¹, 科研費 ISET-R 海洋班一同² (弘前大学², 東海大学 他)

11:00-11:15 3C09

西部北太平洋亜寒帯循環域における東京電力福島第一原子力発電所事故由来粒状態セシウムの沈降速度

○本多 牧生¹, 川上 創¹ (海洋研究開発機構)

11:15-11:30 3C10

福島県東方沖における放射性セシウム粒子束

○乙坂 重嘉¹, 佐藤 雄飛¹, 鈴木 崇史¹, 成田 尚史² (日本原子力研究開発機構², 東海大学)

11:30-11:45 3C11

東京電力福島第一原子力発電所近海における表層海水中の⁹⁰Sr濃度分布

○田副 博文¹, 山形 武靖², 増田 雄基³, 永井 尚生², 山田 正俊¹ (弘前大学被ばく医療総合研究所², 日本大学文理学部³, 日本大学)

11:45-12:00 3C12

東京電力福島原発事故による¹⁴C放出の可能性

○中村 俊夫¹, 緒方 良至¹, 箕輪 はるか², 佐藤 志彦³, 渡邊 隆広⁴ (名古屋大学², 慈恵医科大学³, 筑波大学⁴, 日本原子力研究開発機構)

12:00-12:15 3C13

モンテカルロシミュレーションで空気放射線量率に地形の影響を定量化
○メイリンズ・アレックス¹, 奥村 雅彦¹, 斎藤 公明¹, 町田 昌彦¹ (日本原子力研究開発機構)

12:15-12:30 3C14

セシウム137の将来分布予測における土地利用及び地形データの解像度の影響について
○小田 好博¹, 山口 正秋¹, 新里 忠史¹, 北村 哲浩¹ (独) 日本原子力研究開発機構)

【D会場】

セッションS1 北陸地方を中心とした大気水圏化学
—高低差4000mの地球化学
コンピーナ: 渡辺幸一・岩本洋子・張勁・堀川恵司

9:00-9:15 3D01

山岳および回転翼航空機を利用した北陸地方の大気環境観測
○渡辺 幸一¹, 矢地 千奈津¹, 平井 泰貴¹, 山崎 暢浩¹, 上原 佳敏², 朴木 英治³ (1 富山県立大学, 2 九州大学, 3 富山市科学博物館)

9:15-9:45 3D02 (招待講演)

立山の森林における大気由来のイオン供給の重要性
○久米 篤¹, 上原 佳敏¹, 中野 孝教², 申 基澈², 中島 春樹³, 石田 仁⁴, 朴木 英治⁵, 渡辺 幸一⁶ (1 九州大学, 2 総合地球環境学研究所, 3 富山県農林水産総合技術センター, 4 岐阜大学, 5 富山市科学博物館, 6 富山県立大学)

9:45-10:15 3D03 (招待講演)

能登半島における大気エアロゾルの化学成分が雲凝結核能に与える影響
○松木 篤¹, 岩本 洋子², 木ノ内 健人¹ (1 金沢大学, 2 東京理科大学)

10:15-10:30 3D04

立山積雪層より採取した黄砂エアロゾルによって増殖する大型珪藻類
○朝日 裕也¹, 牧 輝弥¹, 石川 輝², 青木 一真³, 松永 智樹¹, 堀内 周¹, 長谷川 浩¹, 岩坂 泰信⁴ (1 金沢大学, 2 三重大学, 3 富山大学, 4 滋賀県立大学)

10:30-10:45 3D05

Multilocus sequence typing (MLST) 解析を用いた黄砂バイオエアロゾルの長距離輸送の検討
○河合 賢人¹, 牧 輝弥¹, 小林 文尚¹, 陳 彬², 石 廣玉², 青木 一真³, 金 亮勲⁴, 洪 天祥⁵, 長谷川 浩¹, 岩坂 泰信⁶ (1 金沢大学, 2 中国科学院, 3 富山大学, 4 忠北大学校, 5 韓国外国語大学校, 6 滋賀県立大学)

10:45-11:00 休憩

11:00-11:30 3D06 (招待講演)

水月湖年縞堆積物が示唆する気候変動の原因論
○中川 毅¹, 水月湖年縞プロジェクトメンバー——同² (1 立命館大学, 2 www.suigetsu.org)

11:30-11:45 3D07

佐渡沖における過去7千年間の高精度水温復元
○小平 智弘¹, 堀川 恵司¹, 池原 研², 村山 雅史³, 張 勁¹ (1 富山大学, 2 産業技術総合研究所, 3 高知大学)

11:45-12:00 3D08

硝酸態窒素同位体比による急流河川の栄養塩輸送状況の解明～富山県東部河川を例として
○張 勁¹, 佐野 和広¹ (1 富山大院理工)

12:00-12:15 3D09

シラエビ *Pasiphaea japonica* の炭素・窒素安定同位体比を用いた富山湾の食物網解析へのアプローチ
○浦沢 知紘¹, 張 勁¹, 稲村 修² (1 富山大学, 2 魚津市教育委員会)

【E会場】

セッションG17 固体地球化学(全般)

コンピーナ: 折橋裕二・大野剛・角野浩史・山本伸次・小宮剛

8:30-8:45 3E01

$\text{LnF}_3/\text{LnO}_{1.5}$ 対 Ln(III) 配位子交換反応の $\Delta G^\circ(T)$, $T=298\sim 1200\text{ K}$:

Jørgensen-Kawabe 式で記述出来る系列変化と四組効果

○川邊 岩夫¹(名古屋大学大学院環境学研究所)

8:45-9:00 3E02

逐次溶解法(BCR法)による地質試料中の元素存在形態の研究

○久保田 蘭¹, 太田 充恒¹, 岡井 貴司¹(独立行政法人 産業技術総合研究所)

9:00-9:15 3E03

独立成分分析を用いた深海底堆積物の地球化学データ解析

○安川 和孝¹, 中村 謙太郎^{1,2}, 藤永 公一郎¹, 大田 隼一郎¹, 高谷 雄太郎², 町田 嗣樹^{1,3}, 岩森 光², 加藤 泰浩^{1,2}(¹東京大学, ²海洋研究開発機構, ³早稲田大学)

9:15-9:30 3E04

オスミウム同位体比と白金族元素組成からみた海洋プレート下部地殻ト
ロクタイトの形成

○仙田 量子¹, 石川 晃², 森下 知晃³, 鈴木 勝彦¹, 石井 輝秋⁴(¹海洋研究
開発機構, ²東京大学, ³金沢大学, ⁴深田地質研究所)

9:30-9:45 3E05

砕屑性モナザイトのU-Pb年代測定によるアフリカ構造発達史の推定

○板野 敬太¹, 常 青², 飯塚 毅¹, 木村 純一²(¹東京大学, ²海洋研究開発
機構)

9:45-10:00 3E06

砕屑性衝撃変成ジルコンの組織学・年代学的検討

○山本 伸次¹, 小宮 剛¹, 坂田 周平², 服部 健太郎², 平田 岳史²(東京
大学, ²京都大学)

10:00-10:30 3E07 (招待講演)

砕屑性ジルコン年代分布から見た日本及びモンゴルの先新生代地史

○大藤 茂¹(富山大学)

セッションG03 放射性廃棄物と地球化学

コンピーナ: 日高洋・吉田英一・大貫敏彦・河田陽介

10:45-11:00 3E08

鉄オキシハイドロキサイドと地層処分-地下環境中での形成プロセスと
バリア機能への影響-

○吉田 英一¹, 山本 鋼志¹(名古屋大学)

11:00-11:15 3E09

堆積岩系深部地下水腐植物質の錯生成特性

○斉藤 拓巳¹, 寺島 元基¹(日本原子力研究開発機構)

11:15-11:30 3E10

幌延地域における深部地下水の地球化学的研究-地下水中の NH_4^+ 濃度を支
配する反応の推定-

○笹本 広¹(独立行政法人日本原子力研究開発機構)

11:30-11:45 3E11

ベントナイトの長期変質に係わるナチュラルアナログ事例

○山口 耕平¹, 佐藤 久夫¹, 石井 智子¹, 赤堀 邦晃¹, 江藤 次郎², 大和田 仁²,
大江 俊昭³(¹三菱マテリアル株式会社, ²原子力環境整備促進・資金管理セ
ンター, ³東海大学)

11:45-12:00 3E12

カラム通水試験を用いた堆積岩地域における微量元素の収着挙動の推定

○小瀬村隆¹, 石渡健太郎¹, 鈴木章悟¹, 野村雅夫²(¹東京都市大学, ²東京工業大学)

12:00-12:15 3E13

堆積岩系深部地下水中のコロイドのサイズ・組成分析

○浜本 貴史¹, 斉藤 拓巳², 水野 崇², 田中 知¹(¹東京大学, ²日本原子力
研究開発機構)

【A会場】

セッションG08 宇宙化学・惑星化学

コンピーナ: 寺田健太郎・奈良岡浩・坂本尚義

14:00-14:15 3A12

始原的エコンドライト NWA6704 の鉱物化学的研究 - 初期太陽系年代学への適用に向けて-

○日比谷 由紀¹, 飯塚 毅¹, 山口 亮²(¹東京大学,²国立極地研究所)

14:15-14:30 3A13

タイプ7コンドライトの化学組成的特徴

○吉岡 拓真¹, 白井 直樹¹, 海老原 充¹(¹首都大学東京大学院)

14:30-14:45 3A14

玄武岩質ユークライトの¹⁴⁶Sm-¹⁴²Nd年代測定に向けた高精度Nd同位体分析法の開発

○鏡味 沙耶¹, 横山 哲也¹(¹東京工業大学大学院)

14:45-15:00 3A15

ユークライト中ジルコンのU-Pb年代及び微量元素組成から読み解く小惑星ベスタの初期地殻進化

○飯塚 毅¹, 山口 亮², 羽場 麻希子², アメリン ユーリー³, ホールデン ピーター³, アイルランド トレバー³(¹東京大学 地球惑星科学専攻,²国立極地研究所,³豪州国立大学)

15:00-15:15 3A16

段階的溶融処理法による火星隕石 Tissint の Pb 同位体分析

○森脇 涼太¹, 白井 寛裕¹, 横山 哲也¹, J. I. Simon², J. H. Jones³(¹東京工業大学,²Center for Isotope Cosmochemistry and Geochronology at ARES,³NASA-JSC)

15:15-15:30 3A17

炭素質コンドライト中の含窒素環状化合物のシミュレーション合成

○山下 陽平¹, 奈良岡 浩¹, 三田 肇²(¹九州大学,²福岡工業大学)

15:30-15:45 3A18

はやぶさカテゴリ3有機物試料中の水素、炭素と窒素同位体組成

○伊藤 元雄¹, 上相 真之², 奈良岡 浩³, 藪田 ひかる⁴, 北島 富美雄³, 三田 肇⁵, 高野 淑誠¹, 唐牛 謙², 矢田 達², 石橋 之宏², 岡田 達明², 安部 正真²(¹海洋研究開発機構,²宇宙航空研究開発機構,³九州大学,⁴大阪大学,⁵福岡工業大学)

15:45-16:00 3A19

The chemical composition of Australasian tektites collected from Dalat, Vietnam.

○Rabeya Akhter¹, Naoki Shirai¹, Mitsuru Ebihara¹(¹Tokyo Metropolitan University)

【B会場】

セッションG16 海洋化学・大気化学(全般)

コンピーナ: 野尻幸宏・下島公紀・大木淳・亀山宗彦

14:00-14:25 3B14 (招待講演)

北極海における過酸化水素の分布

○近藤 能子¹, 小畑 元², 大木 淳之³, 山下 洋平⁴, 西岡 純⁵, 久万 健志³(¹国立極地研究所,²東大大海研,³北大院水産,⁴北大院地球環境,⁵北大低温研)

14:25-14:40 3B15

太平洋東部赤道海域から西部北太平洋における微小エアロゾルの雲凝結核特性と化学組成

○河田 綾¹, 中山 寛康², 古谷 浩志¹, 成田 祥¹, 上田 紗也子³, 三浦 和彦⁴, 植松 光夫¹(¹東京大学,²東京都環境局,³名古屋大学,⁴東京理科大学)

14:40-14:55 3B16

日本海洋上大気エアロゾル中の生体活性微量元素に関する研究

○奥 菜津美¹, 武田 光市¹, 張 勁², 宗林 由樹³, 中口 譲¹(¹近畿大学,²富山大学,³京都大学)

14:55-15:10 3B17

北海道噴火湾における揮発性有機ヨウ素化合物の経年変化

○清水 悠作¹, 大木 淳之², 久万 健志², 大西 広二², 亀井 佳彦², 小林立 直人²(¹北海道大学大学院,²北海道大学)

15:10-15:25 3B18

微生物によるDMS生成に及ぼす無酸素ストレスの影響

○大森 裕子¹, 谷本 浩志¹, 猪俣 敏¹, 和田 茂樹²(¹国立環境研究所,²筑波大学)

15:25-15:40 3B19

高感度硫化水素測定法による海水中の硫化物の存在状態の研究: 分析法の確立と鬼界カルデラにおける観測

○中山 典子¹, 小畑 元¹, 蒲生 俊敬¹, 佐野 有司¹(¹東大大海研)

15:40-15:55 3B20

隕石衝突が引き起こす海洋酸性化と白亜紀末の生物大量絶滅事件

○大野 宗祐¹, 門野 敏彦², 黒澤 耕介¹, 羽村 太雅³, 境家 達弘⁴, 重森 啓介⁴, 弘中 陽一郎⁴, 佐野 孝好⁴, 渡利 威士⁴, 大谷 一人⁵, 松井 孝典¹, 杉田 精司³(¹千葉工業大学,²産業医科大学,³東京大学,⁴大阪大学,⁵Institut national de la recherche scientifique)

15:55-16:20 3B21 (基調講演)

海水の生成と融解が極域海洋の物質循環に与える影響

○野村 大樹^{1,2}(¹北海道大学低温科学研究所,²日本学術振興会)

【C会場】

セッションG13 最先端計測・同位体地球化学

コンピーナ: 平田岳史・武蔵正明・横山哲也・大野剛・服部祥平・藤井俊行

14:00-14:25 3C15 (基調講演)

光化学過程における質量非依存分別のメカニズムと最近の研究
○ダニエラチェ セバスチアン¹(上智大学・理工学部)

14:25-14:50 3C16 (基調講演)

量子化学的手法を用いた分子内振動解析による質量依存同位体効果の評価
○藤井 俊行¹(京都大学原子炉実験所)

14:50-15:05 3C17

隕石同位体異常の検出に向けた表面電離型質量分析計によるモリブデン同位体比分析法の開発: 酸素同位体組成変動による同位体比シフト
○永井 友一朗¹, 横山 哲也¹(東京工業大学)

15:05-15:20 3C18

塩素同位体比測定の実験的改良と地質学への応用
○石川 厚¹, 山崎 真由香¹, 梅元 悠¹, 三浦 朋子¹, 保柳 康一¹, 吉野 和夫¹(信州大学)

15:20-15:35 3C19

フラグメンテーション法を用いた硫化カルボニルの硫黄同位体計測法: 測定法とその応用
○服部 祥平¹, 豊田 朱梨¹, 豊田 栄¹, 石野 咲子¹, 上野 雄一郎¹, 吉田 尚弘¹(東京工業大学)

15:35-15:50 3C20

加速器質量分析によるウラン236の分析
○中小司 和広¹, 松崎 浩之¹, 三宅 泰斗¹, 本多 真紀², 坂口 綾²(東京大学², 筑波大学)

15:50-16:05 3C21

火成岩類の高精度 Sr 安定同位体分析
○若木 重行¹, 谷岡 裕大², 若杉 勇輝², 壺井 基裕², 石川 剛志¹(海洋研究開発機構², 関西学院大学)

16:05-16:20 3C22

ICP-MS/MSによるストロンチウム90分析法の開発
○大野 剛¹, 廣野 睦¹, 村松 康行¹(学習院大学)

【D会場】

セッションG11 地球内部流体の化学

コンピーナ 岩森光・小木曾哲・石橋純一郎・野口直樹・益田晴恵

14:00-14:15 3D10

中央構造線沿いに湧出する有馬型温泉水の分布と起源~REEs 組成からの考察~
○中村 仁美¹, 岩森 光¹, 千葉 紀奈², 中井 俊一³, 木村 純一⁴, 常 青⁴, 風早 康平⁵(¹海洋研究開発機構・東京工業大学², ²東京工業大学³, ³東京大学地震研究所⁴, ⁴海洋研究開発機構⁵, ⁵産業技術総合研究所)

14:15-14:30 3D11

中央構造線の断層帯における地震時の流体岩石相互作用と深部流体の寄与
○石川 剛志¹, 廣野 哲朗², 松多 範子², 河本 和朗³, 藤本 光一郎⁴, 亀田 純⁵, 西尾 嘉朗¹, 前川 由佳², 本多 剛²(¹海洋研究開発機構², ²大阪大³, ³大鹿村中央構造線博物館⁴, ⁴東京学芸大⁵, ⁵北海道大)

14:30-14:45 3D12

ホウ素同位体比を用いた沖縄トラフにおける海底熱水の反応温度の推定
○土岐 知弘¹, 蝦名 直也¹, 新城 竜一¹, 石橋 純一郎²(¹琉球大学², ²九州大学)

14:45-15:00 3D13

水素流体がケイ酸塩鉱物の化学組成に与える影響
○篠崎 彩子¹, 鍵 裕之¹, 平井 寿子², 大藤 弘明², 岡田 卓¹, 中野 智志³, 八木 健彦¹(¹東京大学², ²愛媛大学³, ³物質・材料研究機構)

セッションG12 地球化学の人文科学への応用

コンピーナ: 南雅代・丸岡照幸・宮田佳樹・北川浩之

15:15-15:40 3D14 (招待講演)

土器残留脂質分析からみえてくる古代人の食生活: 縄文晩期亀ヶ岡文化圏の食環境
○堀内 晶子¹(国際基督教大学)

15:40-15:55 3D15

土器残留脂質分析による縄文時代の海産物資源利用の評価
○宮田 佳樹¹, 堀内 晶子²(¹金沢大学低レベル放射能実験施設², ²国際基督教大学)

15:55-16:10 3D16

化学処理による炭化物の¹⁴C年代の比較
○富山 慎二¹, 南 雅代², 中村 俊夫², 鍵 裕之³(¹名古屋大学大学院², ²名古屋大学³, ³東京大学大学院)

16:10-16:25 3D17

愛知県豊田市の里山からキツネが消えた日
○南 雅代¹, 鈴木 和博¹, 中村 俊夫¹, 池田 晃子¹(名古屋大学)

【E会場】

セッションG03 放射性廃棄物と地球化学

コンピーナ: 日高洋・吉田英一・大貫敏彦・河田陽介

14:00-14:30 3E14 (基調講演)

大規模地下施設の建設・操業・閉鎖に関わる地球化学

○岩月 輝希¹, 三枝 博光¹, 尾上 博則¹ (日本原子力研究開発機構)

14:30-14:45 3E15

北海道幌延地域に分布する堆積岩に認められる炭酸塩鉱物のREEパターン

○村上 拓馬¹, 水野 崇¹, 笹本 広¹, 鴻上 貴之², 佐々木 隆之² (日本原子力研究開発機構², 京都大学)

14:45-15:00 3E16

生物性マンガン酸化物へのアクチノイドの吸着特異性

○田中 万也¹, 渡邊 直子¹, 谷 幸則², 大貫 敏彦³ (広島大学², 静岡国立大学³, 日本原子力研究開発機構)

15:00-15:15 3E17

Adaptive interactions between Live *Acremonium strictum* KR21-2 Fungus and REEs during Mn(II) bio-oxidation

○ Qianqian Yu¹, Toshihiko Ohnuki¹, Kazuya Tanaka², Naofumi Kozai¹, Shinya Yamasaki¹, Fuminori Sakamoto¹, Yukinori Tani³ (Advanced Science Research Center, JAEA, ²Institute for Sustainable Sciences and Development, Hiroshima University, ³Department of Environmental and Life Sciences, University of Shizuoka)

15:15-15:25 休憩

15:25-15:40 3E18

山地の森林域における放射性セシウムの移動現象と流出量評価-福島県、阿武隈山地の事例-

○新里 忠史¹, 阿部 寛信¹, 石井 康雄¹, 渡辺 貴善¹, 三田地 勝昭¹ (日本原子力研究開発機構)

15:40-15:55 3E19

放射性Csの移行への糸状菌の影響-鉱物の影響-

○大貫 敏彦¹, 坂本文徳¹, 香西直文¹, 椎名和弘¹, 田中健之¹, 行川淳¹ (日本原子力研究開発機構)

15:55-16:10 3E20

MAS NMR と XAFS によるトラスコタイトに取り込まれたセシウムの化学状態に関する研究

○大橋 弘範¹, 米津 幸太郎¹, 本間 徹生², 川本 大祐¹, 岡上 吉広¹, 渡辺 公一郎¹, 横山 拓史¹ (九州大学², JASRI/SPRing-8)

16:10-16:25 3E21

風化した雲母類粘土鉱物におけるセシウム吸着の第一原理計算による解析

奥村 雅彦¹, 中村 博樹¹, 町田 昌彦¹ (日本原子力研究開発機構)

セッションS1 北陸地方を中心とした大気圏化学
—高低差4000mの地球化学

3P01

回転翼航空機を利用した富山県上空の微量気体成分の測定
○西部 美雪¹, 矢地 千奈津², 平井 泰貴², 山崎 暢浩², 中川 佳祐¹, 塩田 典子¹, 渡辺 幸一²(¹富山県立大学,²富山県立大学大学院)

3P02

北陸地方における大気環境中の二酸化硫黄及び硫酸塩粒子の動態
○松原 弘樹¹, 金 聖鈞¹, 山崎 暢浩², 塩田 典子¹, 岩本 洋子³, 山田 怜奈⁴, 沢野 未佳⁵, 松木 篤⁵, 渡辺 幸一²(¹富山県立大学,²富山県立大学大学院,³東京理科大学,⁴金沢大学大学院,⁵金沢大学)

3P03

富山県における積雪中のイオン成分及びアルデヒド類の特徴
○中川 佳祐¹, 平井 泰貴², 矢地 千奈津², 山崎 暢浩², 西部 美雪¹, 松原 弘樹¹, 金 聖鈞¹, 塩田 典子¹, 渡辺 幸一²(¹富山県立大学,²富山県立大学大学院)

3P04

Using chemical components and stable isotopes in snow cover to evaluate the volcanic gas impact in Jigoku Valley, Tateyama Mountain
○Kimso¹, Jing Zhang¹, Naoya Wada¹(¹University of Toyama)

3P05

富山市と立山の高度差3000mで観測される降水の化学成分、 $\delta^{18}\text{O}$ に見られる高度効果
○朴木 英治¹, 渡辺 幸一², 久米 篤³, 上原 佳敏³, 檜山 哲哉⁴, 上田 晃⁵, 岡北 渚沙⁵(¹富山市科学博物館,²富山県立大学,³九州大学,⁴名古屋大学,⁵富山大学)

3P06

富山県の降水の水素・酸素同位体組成の特徴と地中熱利用を目的とした地下水の流動状況の解明
○岡北 渚沙¹, 上田 晃¹(富山大学)

3P07

富山県河川水の主要成分・微量元素に基づく水質解析
○水畑 和子¹, 堀川 恵司¹, 中野 孝教², 申 基澈², 張 勁¹(¹富山大学院,²総合地球環境学研究所)

3P08

成長初期段階の雲粒径の変化: 能登半島での通年地上観測から
○木ノ内 健人¹, 岩本 洋子², 松木 篤³(¹金沢大学大学院,²東京理科大学,³金沢大学)

3P09

能登地域における大気エアロゾルナノ粒子の特性評価
○鬼塚 大史¹, 松木 篤¹, 畑 光彦¹, 古内 正美¹, 侯 麗¹(¹金沢大学)

3P10

「波の花」に含まれる有機物を測る
○岩本 洋子¹(¹東京理科大学)

3P11

炭素・窒素安定同位体から見るホタルイカと日本海食物網
○張 勁¹, 山崎 奈津実¹, 稲村 修²(¹富山大学院理工,²魚津水族館)

セッションG02 古気候・古環境解析の地球化学

3P12

Sr, Nd 同位体とREE組成を用いた北極海チュクチ海域の沈降粒子中の珪酸塩の起源および季節変動の解析
○竹内 晟也¹, 浅原 良浩¹, 原田 尚美², 長島 佳菜², 小野寺 文尚太郎²(¹名古屋大学,²海洋研究開発機構)

3P13

貝殻成長線解析と安定同位体分析による二枚貝の成長様式推定～地球化学の水産学への応用～
○白井 厚太郎¹, 杉原 奈央子¹, 清家 弘治¹(¹東京大学)

3P14

カワシンジュガイ殻中の微量な軽元素の濃度分布解析と古環境指標としての応用
○為則 雄祐¹, 吉村 寿紘²(¹公益財団法人高輝度光科学研究センター,²独立行政法人海洋研究開発機構)

3P15

淡水棲二枚貝イケテヨウガイ殻の酸素・炭素同位体比、ストロンチウム同位体比、微量元素濃度の時系列変化
○永石 一弥¹, 松岡 淳¹, 石川 剛志², 谷水 雅治², 池原 実³, 若木 重行², 坂井 三郎², 吉村 寿紘², 鈴木 淳⁴, J-DESC コアスクール コア同位体分析コース 受講者一同⁵(¹マリン・ワーク・ジャパン,²海洋研究開発機構,³高知大学,⁴産業技術総合研究所,⁵J-DESC)

3P16

リュウキュウマツ年輪セルロースの酸素安定同位体比による沖縄の相対湿度変動の復元
○植村 美希¹, 植村 立¹, 佐野 雅規², 中塚 武²(¹琉球大,²総合地球研)

3P17

網走湖堆積物中有機物分析による過去300年間の環境変化
○柴田 直樹¹, 山本 修一¹, 関 幸², 瀬戸 浩二³(¹創価大学大学院工学研究科環境共生工学専攻,²北海道大学 低温科学研究所,³島根大学 汽水域研究センター)

3P18

薩摩硫黄島の造礁サンゴ骨格を用いた熱水活動史の復元
○渡邊 剛¹, 神村 奏恵¹, 大森 一人¹, 山崎 敦子², 関谷 祥子¹, F. Le Guem³, 清川 昌一⁴(¹北大院理,²東大気海洋研,³LSCE, CNRS,⁴九大院理)

3P19

インドネシア・ジャワ島の鍾乳石に記録された過去千年間の炭素・酸素同位体変動
○渡邊 裕美子¹, 田上 高広¹(¹京都大学)

3P20

日本の歴史時代における気候変動研究の課題
○中塚 武¹, 佐野 雅規¹, XU Chenxi¹(¹総合地球環境学研究所)

3P21

礼文島久種湖堆積物中の極細粒元素炭素量の過去3千年間の時代変化
○入野 智久¹, 中井 淑恵¹, 山本 正伸¹, 宮崎 雄三¹, 河村 公隆¹, 山田 和芳², 米延 仁志³(¹北海道大学,²静岡県庁,³鳴門教育大学)

3P22

鍾乳石中の流体包有物の同位体比測定法の改良: 石筍同一層内の均一性の検証
○三嶋 悟¹, 仲村 賢作¹, 植村 立¹(¹琉球大)

3P23

カリフォルニア沖における融氷期のメタン放出イベント
○中國 正寿¹, 関 幸², 山本 修一¹(¹創価大学大学院工学研究科環境共生工学専攻,²北海道大学低温科学研究所)

3P24

シングルステージ加速器質量分析装置を用いた微量放射性炭素分析による古気候研究
○横山 祐典¹, 宮入 陽介¹, 山根 雅子², 平林 頌子¹, 石輪 健樹¹, 沢田 近子¹, 阿瀬 貴博¹, 大河内 直彦²(¹東京大学 大気海洋研究所,²海洋研究開発機構)

3P25

バイカル湖湖底堆積物の酸化還元元素の定量分析と古気候復元
○池田 久士¹, 柴田 健二², 國分(齋藤) 陽子², 村上 拓馬², 勝田 長貴³(¹岐阜大学大学院,²日本原子力研究開発機構,³岐阜大学)

第3日目(9月18日)ポスターセッション
ポスター会場(D21,D22), コアタイム 12:30-14:00

3P26

Nd isotopic composition of foraminiferal test from sediment cores collected near Papua New Guinea
Hiroshi Amakawa¹, Yi-Chi Chen¹, Tsai-Luen Yu¹, Li Lo and Chuan-Chou Shen¹(HISPEC, Department of Geosciences, National Taiwan University)

3P27

Neogloboquadrina pachyderma(s)のMg/Ca比古水温計による氷期南大洋太平洋セクターの水温復元
○脇坂 恵都子¹, 堀川 恵司¹, 原田 尚美², 小平 智弘¹, 張 勁¹(¹富山大学,²海洋研究開発機構)

3P28

カリフォルニア沖堆積物中有機物からみた過去13万年間の古環境変動
○島田 学¹, 大木 千恵子¹, 中国 正寿¹, 山本 修一¹(¹創価大学大学院工学研究科 環境共生工学専攻)

セッションG03 放射性廃棄物と地球化学

3P29

³H, CFCsを利用した地下施設周辺の浅層地下水の浸透状態の推測
○岩月 輝希¹, 大森 一秋¹, 萩原 大樹¹, 長谷川 琢磨², 中田 弘太郎²(¹日本原子力研究開発機構,²電力中央研究所)

3P30

地層処分における花崗岩割れ目表面の希土類元素の存在形態
○石渡 健太郎¹, 鈴木 章悟¹, 小瀬村 隆¹, 竹野 竜平¹, 野村 雅夫²(¹東京都市大学,²東京工業大学)

3P31

下水汚泥焼却灰中の¹³⁷Csの化学状態の解明及び放射能濃度低減方法
香西 直文¹, 鈴木 伸一¹, 青柳 登¹, 坂本 文徳¹, 大貫 敏彦¹(¹日本原子力研究開発機構)

3P32

MnO₄⁻イオンの微生物還元挙動の解明
○加藤 友彰¹, 大貫 敏彦², 斎藤 拓巳², Yu Qianqian³(¹茨城大学,²日本原子力研究開発機構,³九州大学)

3P33

嫌気高圧培養実験を用いた深部花崗岩地下水中微生物の硫酸還元活性と炭酸還元活性の評価
○廣田 明成¹, 東郷 洋子¹, 福田 朱里², 伊藤 一誠¹, 鈴木 庸平³, 角皆 潤⁴, 小松 大祐⁵, 岩月 輝希⁶(¹産業技術総合研究所,²明治大学,³東京大学,⁴名古屋大学,⁵東海大学,⁶日本原子力研究開発機構)

セッションG07 マントル物質の化学とダイナミクス

3P34

南部アンデス弧(SVZ)火山岩類におけるフッ素の挙動
○遠山 知亜紀¹, 折橋 裕二², 新正 裕尚³, 角野 浩史², 村松 康行⁴(¹海洋研究開発機構,²東京大学,³東京経済大学,⁴学習院大学)

セッションG08 宇宙化学・惑星化学

3P35

模擬分子雲環境下で合成した有機物の質量分析法の構築
○石橋 之宏¹, 三田 肇², 中山 美紀², 奈良岡 浩¹, 橋 省吾³, 羽馬 哲也⁴, 遠藤 由希子³, 香内 晃⁴(¹九州大学大学院²福岡工業大学³北海道大学大学院⁴北海道大学)

3P36

局所U-Pb年代分析にむけたポストイオン化SNMSの開発
○上岡 萌¹, 寺田 健太郎¹, 豊田 岐聡¹, 石原 盛男¹, 中村 亮介², 青木 順¹, 日野 裕太¹, 河井 洋輔¹, 諏訪 太一¹(¹大阪大学大学院²大阪大学産学連携本部)

3P37

フェムト秒レーザーアブレーション-ICPMSによる普通コンドライト金属相の局所微量元素分析
○横山隆臣¹, 平田岳史²(¹東京大学,²京都大学)

3P38

ICP-MS法を用いた地球化学的標準試料中のZn, Cd, In, Tl, Pb, Biの定量(1)-火成岩
○横塚 佑太¹, 寺井 早紀¹, 白井 直樹¹, 海老原 充¹(¹首都大学東京大学院)

3P39

ICP-MS法を用いた地球化学的標準試料中のZn, Cd, In, Tl, Pb, Biの定量(2)-堆積岩, 堆積物
○寺井 早紀¹, 横塚 佑太¹, 白井 直樹¹, 海老原 充¹(¹首都大学東京大学院)

3P40

メソシデライト中リン酸塩鉱物の希土類元素組成
○羽場 麻希子¹, 白井 直樹², 山口 亮¹(¹国立極地研究所,²首都大学東京)

3P41

炭素質コンドライトのNi同位体異常
宮本 恒¹, 山下 勝行¹(¹岡山大学)

3P42

プロトン捕獲による質量数130-150のp核存在量の解明
○木下 哲一¹, 上野 慎吾², 林 和憲², 横山 明彦²(¹清水建設,²金沢大学)

セッションG11 地球内部流体の化学

3P43

沈み込み帯の流体とメルト生成と移動: U-Th放射壊変系列を含む数値シミュレーションからの制約
○池本 昭彦¹, 岩森 光²(¹東京工業大学,²海洋開発研究機構)

3P44

ハロゲンと希ガスをトレーサーとした水の沈み込み過程の解明
○小林 真大¹, 角野 浩史¹, 長尾 敬介¹, 石丸 聡子², 荒井 章司³, 芳川 雅子⁴, 川本 竜彦⁴, 熊谷 仁孝⁴, 小林 哲夫⁵(¹東京大学,²熊本大学,³金沢大学,⁴京都大学,⁵鹿児島大学)

3P45

伊豆小笠原・沖縄トラフ海底熱水域における水銀同位体組成の特徴
○武内 章記¹, 山本 正浩², 児玉谷 仁³, 富安 卓滋³, 丸茂 克実⁴(¹国立環境研究所,²海洋研究開発機構,³鹿児島大学,⁴富山大学)

3P46

海底熱水の微量アルカリ元素の特徴
○蝦名 直也¹, 石橋 純一郎²(¹九州大学大学院,²九州大学)

3P47

九州南部の高温海岸温泉の熱水地球化学
○堤 彩紀¹, 石橋 純一郎¹, 今野 祐多², 下中 智美³, 益田 晴恵³(¹九州大院理学府,²海洋研究開発機構,³大阪市立大院理学研究科)

3P48

阿蘇火山火砕流堆積物中のアパタイトの揮発性元素組成
○道久 真理絵¹, 佐野 有司², 高畑 直人², 石田 章純², 小池 みずほ², 吉田 健太¹, 小木曾 哲¹(¹京都大学大学院,²東京大学)

セッションG12 地球化学の人文科学への応用

3P49

マイクロガラスビード/蛍光X線法による極微量(1mg)試料の元素組成分析-考古遺物の起源推定に向けて-
○市川 慎太郎¹, 中村 利廣¹(¹明治大学)

セッションG13 最先端計測・同位体地球化学

3P50

地球外物質中に含まれるTiの分離方法の開発
○西原 克¹,後田 祥吾¹,山下 勝行¹(¹岡山大学)

3P51

希土類元素安定同位体地球化学の為の前処理法の検討
○石橋卓也¹,大野剛¹,村松康行¹(¹学習院大学)

3P52

炭酸塩鉱物沈殿反応におけるアルカリ土類金属元素同位体分別
○肆矢 俊浩¹,大野 剛²,下田 玄³,後藤 孝介³,村松 康行²(¹学習院大学大学院,²学習院大学,³産業技術総合研究所)

3P53

ICP質量分析法を用いた $\delta^{17}\text{Li}$ 値迅速分析法の確立
○谷水 雅治¹,永石 一弥¹(¹海洋研究開発機構,²マリン・ワーク・ジャパン)

3P54

B-Cl同位体比を用いた指宿深層流体中のB-Cl起源について
○武蔵 正明¹,大井 隆夫²,Rob Kreulen³(¹芝浦工業大学,²上智大学,³Iso Lab)

3P55

Nano and Micro-scale Geological Metrology with Atom Probe Tomography
OM. Ishikawa¹, D. Reinhard², J. Valley³, D. Larson², D. Olson², D. Lawrence², I. Martin², T. Prosa², R. Ulfig², T. Kelly²(¹AMETEK Co., Ltd.,²CAMECA Instruments, Inc.,³WiscSIMS)

3P56

レーザーイオン化質量分析を用いたさまざまな有機化合物の測定条件最適化に関する基礎実験
○林 雅也¹,藪田 ひかる¹,青木 順¹,河井 洋輔¹,豊田 岐聡¹,寺田 健太郎¹(¹大阪大学)

3P57

MC-ICP-MSによる地質標準試料のSr-Nd-Hf-Pb同位体分析
○福山 蘭子¹,岡村 謙起¹,石山 大三¹,Nguyen Hoang²,小笠原 正継³(¹秋田大学,²ベトナム科学技術アカデミー,³産業技術総合研究所)

3P58

同位体希釈ICP質量分析による14希土類元素の定量
○田中 剛¹,Lee Seung-Gu¹,Kim Taehoon²,Moon Jungjin²,Lee Hyo Min¹,Lee Seung Ryeol¹,Lee Jong Ik²(¹韓国地質鉱物資源研究院,²韓国極地研究所)

3P59

普通コンドライト隕石中のリン酸塩鉱物のLA-ICPMS法によるU-Pb年代測定法の開発
○伊藤 正一¹,坂田 周平¹,服部 健太郎¹,平田 岳史¹(¹京都大学)

3P60

レーザーアブレーションICP質量分析法における元素分別機構の解明とその低減
○平田 岳史¹,藤本 万寿人¹,坂田 周平¹,服部 健太郎¹,高橋 けんし²(¹京都大学大学院,²京都大学)

セッションG14 原発事故で放出された放射性核種の環境動態

3P61

名古屋大学東山キャンパス各所の放射線量を大学初年次教育に用いる
富山 慎二¹,加藤 ともみ¹,坂田 健一¹,○田中 剛¹(¹名古屋大学)

3P62

汽水域における放射性セシウム分布状況と挙動把握:福島県松川浦での事例
○神林 翔太¹,張 勁¹,廣上 清一¹,成田 尚史²,柴沼 成一郎³,相馬双葉漁業協同組合松川浦支所一同⁴(¹富山大学,²東海大学,³シーベック,⁴相馬双葉漁業協同組合)

3P63

常磐沖海底堆積物中における¹³⁷Cs,¹³⁴Csの分布
○富岡 裕¹,鈴木 章悟¹,岡田 往子¹(¹東京都市大学)

3P64

富山市及びその周辺地域に降下した大気圏内核実験由来の放射性セシウム濃度の深度変化
山中 潤一¹,○丸茂 克美²,廣上 清一²,土屋 秀二¹,高瀬 尚人¹,山田 優子¹(¹応用地質株式会社,²富山大学)

3P65

ガンマ線測定による地表面上に降下した放射性物質の動態研究
○渡邊 利奈¹,小豆川 勝見¹,松尾 基之¹(¹東京大学)

3P66

ナトリウム-マグネシウム混合溶液によるスメクタイトからの微量セシウム脱離挙動
○吹上 朋¹,朝日 一成¹,酒井 遥¹,福士 圭介¹(¹金沢大学)

3P67

ヨウ素同位体分析による土壌中のヨウ素動態の解明
○松崎 浩之¹,木島 渉¹,三宅 泰斗¹,Bautista Angel,T¹,徳山 裕憲¹,楠野 葉瑠香¹,本多 真紀²,村松 康行³,前島 勇治⁴,山形 武靖⁵(¹東京大学,²筑波大学,³学習院大学,⁴農業環境研究所,⁵日本大学)

3P68

福島第一原発周囲の表層土壌中の長半減期核種の測定
○三宅 泰斗¹,松崎 浩之¹(¹東京大学大学院)

3P69

ため池堆積物からの主要陽イオンによるセシウム脱離実験
○朝日 一成¹,青井 裕介¹,福士 圭介¹,高瀬 聖一²(¹金沢大学,²ふくしま海洋科学館)

3P70

土壌中のセシウムの深度プロファイルとその化学状態の関係
Fan Qiaohui¹,○栗原 雄一¹,高橋 嘉夫¹,恩田 裕一²(¹東京大学,²筑波大学)

セッションG16 海洋化学・大気化学(全般)

3P71

硫酸の光解離ダイナミクスの理論的研究
○村上 龍大¹,Danielache Sebastian O.¹,南部 伸孝¹(¹上智大学)

3P72

海洋グライダーによるpH/pCO₂の連続観測の試み
下島 公紀¹,○坂本 敦史¹,Bruce Howe²,Jan Kaiser³(¹九州大学,²ハワイ大学,³イーストアングリア大学)

3P73

海底熱水系周辺における底質及び生体試料中水銀濃度
○富安 卓滋¹,尾畑 勝義¹,児玉谷 仁¹,河野 百合子¹,神崎 亮¹,山本 正浩²,武内 章記³,丸茂 克美⁴(¹鹿児島大学,²海洋研究開発機構,³国立環境研究所,⁴富山大学)

3P74

西部太平洋で観測されたAPOの年平均値の緯度分布のENSOイベントに関連した変動について
○遠嶋 康徳¹,寺尾 有希夫¹,向井 人史¹,野尻 幸宏¹,町田 敏暢¹(¹国立環境研究所)

3P75

大気・陸域生態系間の物質交換に関する総合的観測研究プラットフォームの構築と整備
○高橋 善幸¹,三枝 信子¹,植山 雅仁²,谷 晃³,望月 智貴⁴(¹国立環境研究所,²大阪府立大学,³静岡県立大学,⁴北海道大学)

第3日目(9月18日)ポスターセッション
ポスター会場(D21,D22), コアタイム 12:30-14:00

3P76

海底熱水鉱床探査への化学センサの適用

下島 公紀¹, 坂本 敦史¹, 藤井 輝夫²(¹九州大学 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所, ²東京大学)

3P77

リチウム同位体をトレーサーとする大気エアロゾルの発生源推定法—黄砂トレーサーとしての有効性—

○坂田 昌弘¹, 今井 佑¹, 光延 聖¹(¹静岡県立大学)

セッションG17 固体地球化学(全般)

3P78

Applications of the improved Jorgensen equation to the REE patterns of kimuraite and lanthanite, and to the REE partitioning between the coexisting REE³⁺ species

○Jiao Wenfang¹, Kawabe Iwao¹, Kato Takenori²(¹Department of Earth and Planetary Sciences, Nagoya University, ²Centre for Chronological Research, Nagoya University)

3P79

日本の第四紀広域テフラの元素組成

○丸山 誠史¹, 平田 岳史², 檀原 徹¹(¹株式会社 京都フィッション・トラック, ²京都大学)

3P80

レーザーアブレーションマルチイオンカウンティングICP-質量分析法によるジルコン中のU-Pb年代測定

○服部 健太郎¹, 坂田 周平¹, 平田 岳史¹(¹京都大学大学院理学研究科)

3P81

花崗岩起源河川堆積物の粒径別Sr同位体比

○城森 由佳¹, 南 雅代¹, 鈴木 和博¹(¹名古屋大学)